

令和3年度事業報告書

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

1. 令和3年度 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

資料①「令和3（2021）年度 相談支援実績」
資料②「令和3（2021）年度 京都市精神障害者地域移行促進事業（委託）実績」
資料③「令和3（2021）年度 相談支援事例」
資料④「令和3（2021）年度 なごやかサロン 実績」
資料⑤「令和3（2021）年度 なごやかサロン グループワーク活動 一覧」
資料⑥「令和3（2021）年度 苦情対応」
資料⑦「令和3（2021）年度 実習生の受入・地域ネットワーク・研修参加状況」
資料⑧「令和3（2021）年度 令和2年度障害者地域生活支援センター実績」
資料⑨「令和3（2021）年度 職員体制」
資料⑩「令和3（2021）年度 新規相談概要」
資料⑪「サロン 意向確認とりまとめ」
資料⑫「令和3（2021）年度 個人情報管理状況報告書」

2. 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
 - （1）相談支援事業実績報告書
 - （2）相談概要報告書
 - （3）こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」事業実績報告

3. 京都市精神障害者地域移行・地域定着支援事業
 - （1）実績報告書
 - （2）収支計算報告書

4. 令和3年度 決算報告書（財務諸表）※別紙添付資料「決算報告書」

5. 令和3年度 職員 一覧 ※別紙添付資料 資料⑨

6. 具体的な内容事項 資料
 - （1）ア 定員・在籍者数・施設稼働率について ※別紙添付資料①②④
イ 職員配置数 ※別紙添付資料⑨
ウ 利用者満足度の把握状況 ※別紙添付資料⑥
 - （2）令和3年度決算報告書（財務諸表）（4.に同じ）
 - （3）「指定管理業務のみに係る決算状況（収支状況）が分かる書類」
※別紙添付資料「決算報告書」
 - （4）事故報告 ※無し

『相談支援 実績』

- ・京都市障害者地域生活支援センター運営事業（相談支援事業委託）
- ・指定特定相談支援事業（計画相談）
- ・指定障害児相談支援事業（障害児相談）
- ・指定一般相談支援事業（地域相談）

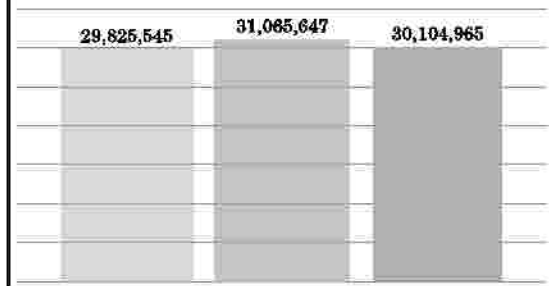
※京都市内の15支援センターで数値比較されているもの

京都市中部障害者地域生活支援センター
「なごやか」

1. 委託費

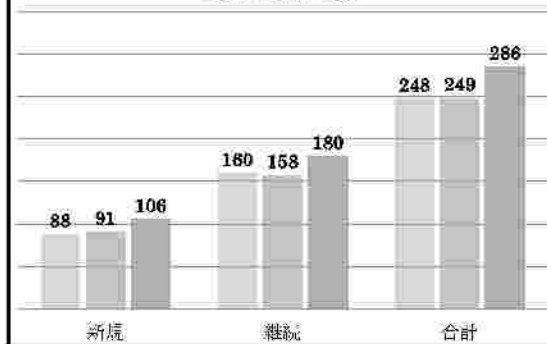
京都市障害者地域生活支援センター運営事業
（相談支援事業）

2019 2020 2021



2. 相談者(実利用人数)

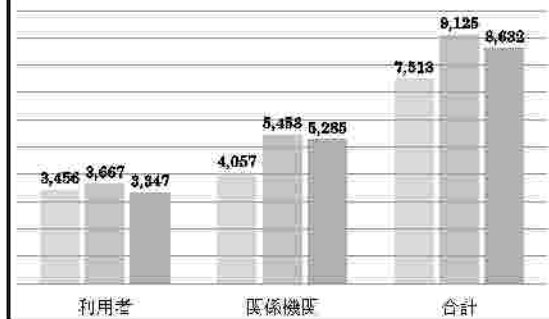
2019 2020 2021



3. 相談延べ件数

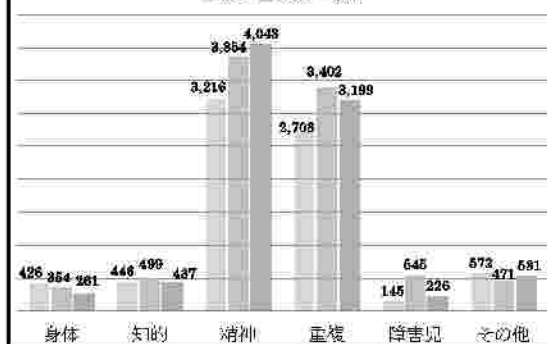
※利用者（本人、家族、保護者等）

2019 2020 2021



4. 相談延べ件数(障害種別)

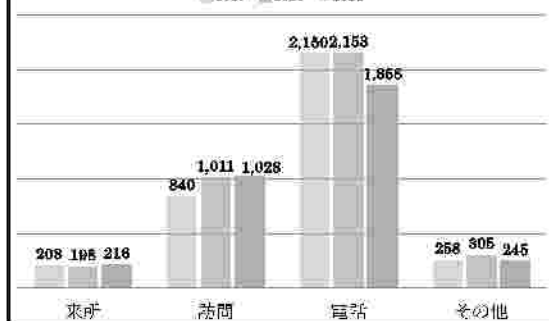
2019 2020 2021

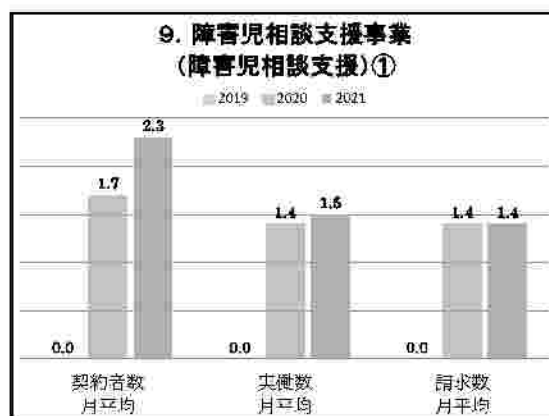
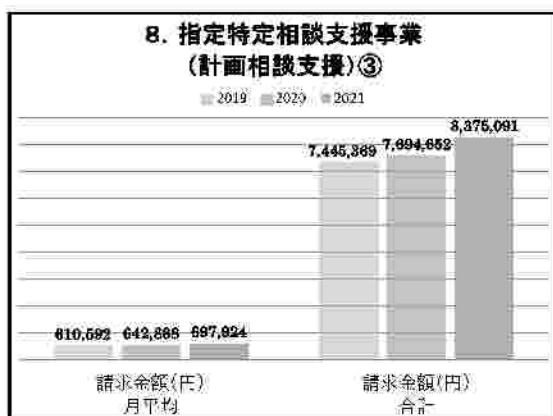
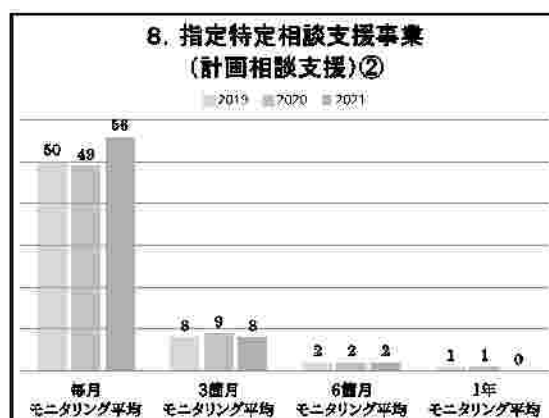
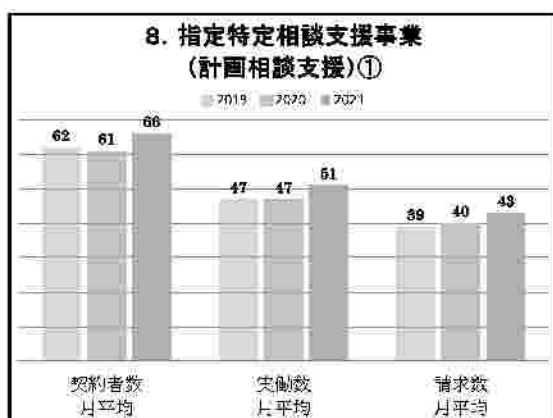
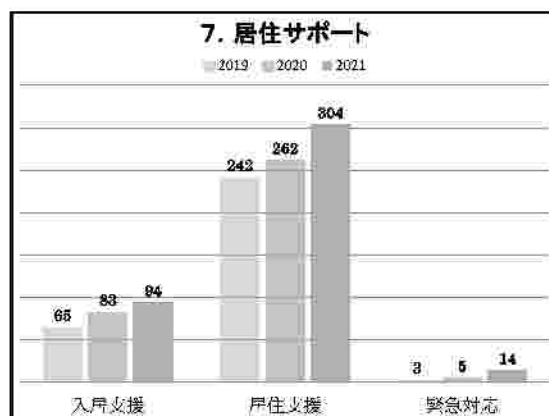
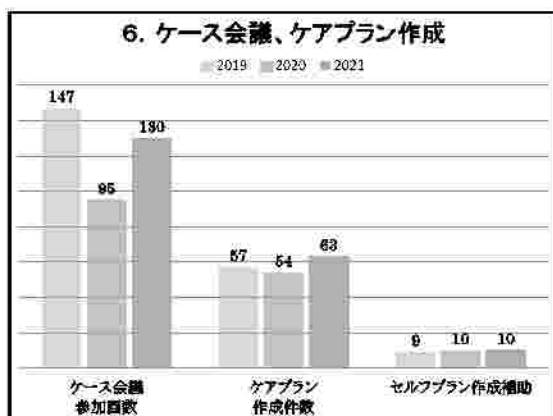


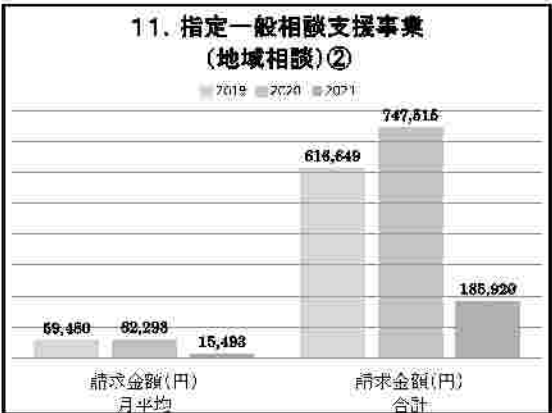
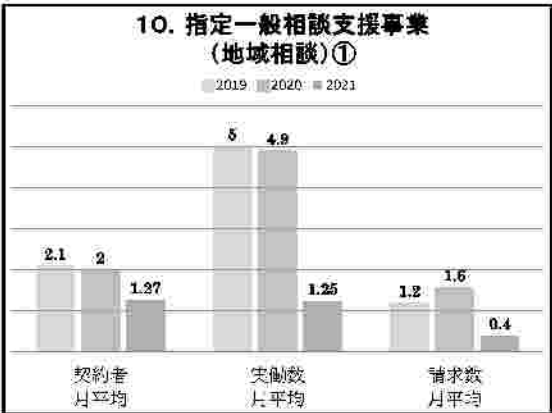
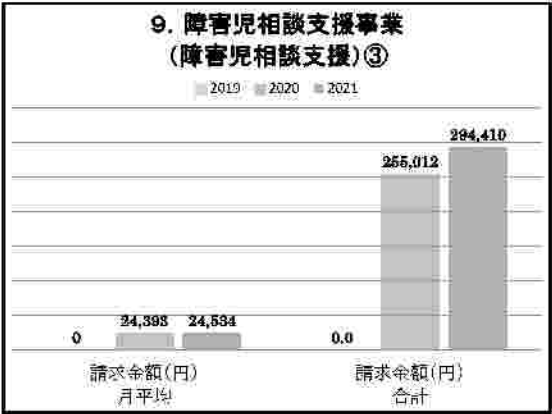
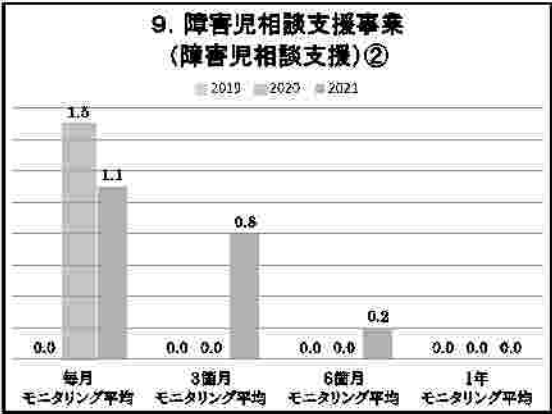
5. 相談延べ件数(相談方法別)

※利用者のみ

2019 2020 2021







『京都市精神障害者地域移行 促進事業 実績(委託)』

京都市中部障害者地域生活支援センター
「なごやか」

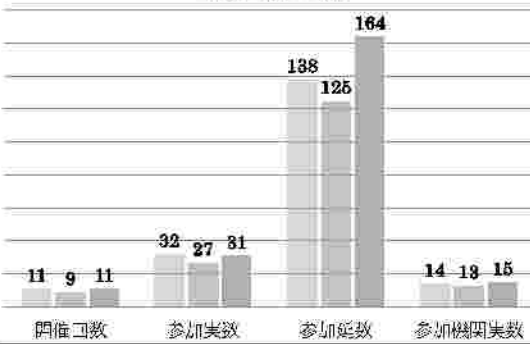
1. 委託費

2019 2020 2021

4,021,450 3,715,800 3,799,800

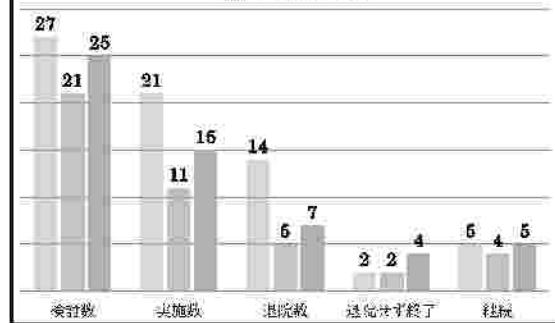
2. 実務者会議

2019 2020 2021



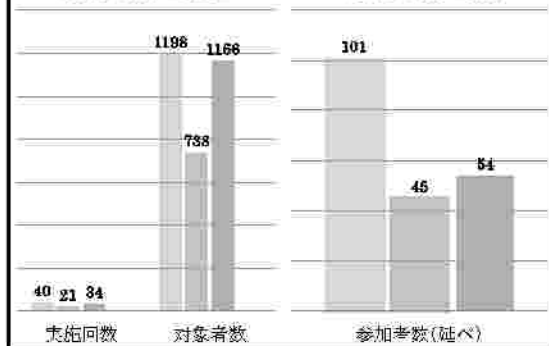
3. 京都市全体の地域移行支援実施状況 ※実務者会議において把握している内容

2019 2020 2021



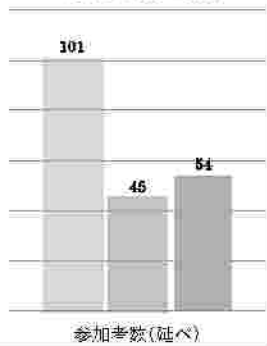
4. 普及啓発

2019 2020 2021



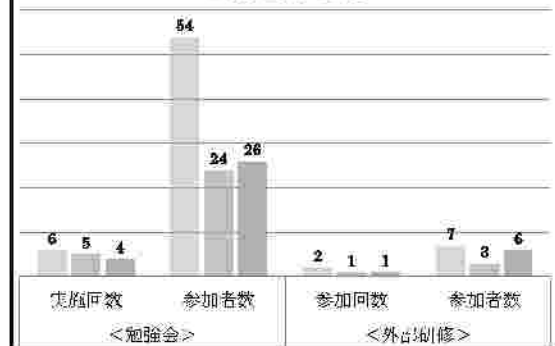
5. 関係機関研修

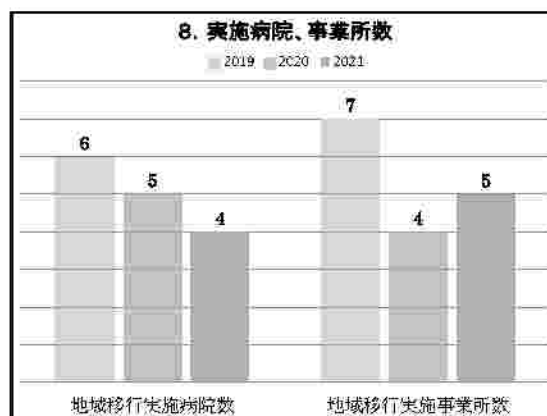
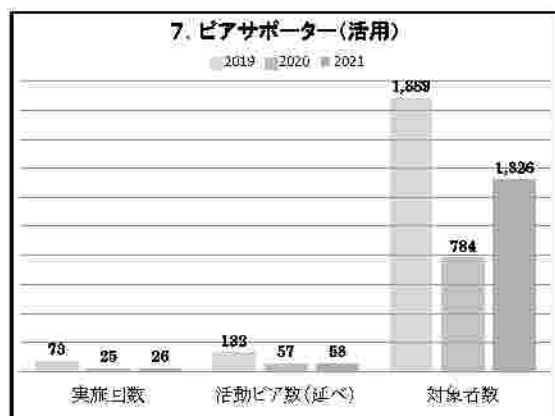
2019 2020 2021



6. ピアサポーター(育成)

2019 2020 2021





『相談支援 事例』

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

◇事例1.

虐待 ・ 触法 ・ ○サービス利用に至っていない ・ 支援拒否 ・ その他

タイトル：高齢の母親と同居する治療中断中の長男への介入方法について

性別：男性 年齢：50代

概要：地域包括支援センターより相談があったケース。高齢の母親と同居する長男がその世帯の家計を担っているが、現在無職であることや家賃が支払えない状況の中で、今後の介入方法についての相談があった。長男は精神疾患を患っているが治療中断中であることや積極的に支援を求めていること、母親は関係機関で情報を共有されることに対して不信感を抱かれることから一機関での介入が難しく、今後の関わりを見据えて支援センターに相談があった。後日、母親より電話があり、相談内容を確認、法律相談の窓口を紹介するとともに必要に応じて相談対応を継続することを伝えた。

◇事例2.

虐待 ・ 触法 ・ サービス利用に至っていない ・ 支援拒否 ・ ○その他

タイトル：精神科への通院が滞りがちで、関係者に対して暴言がある方へのかかわり

性別：男性 年齢：50代

概要：往診していた主治医への暴力やヘルパーへの暴言により、一旦福祉サービスの支援が中断した。治療と支援継続の必要性から受診先を変更し、新たな主治医のもとで治療方針を確認し、他事業所でのヘルパー支援を再開。ヘルパーへの暴言があればサービス提供を中断することや、サービス提供時間を厳守することについては概ね守られている。関係機関への電話が頻回で長時間であること、電話対応をする職員の発言の言葉尻を捉えて詰め寄られるため、対応に苦慮している。当センター内の職員ミーティングにおいて、電話相談時間の取り決めや、暴言があった際の対応について確認している。

◇事例3.

虐待 ・ 触法 ・ サービス利用に至っていない ・ 支援拒否 ・ ○その他

タイトル：自閉症特性、愛着の課題があり、家族への暴力がある

性別：男性 年代：20代

概要：医療機関からの相談がきっかけで、本人の計画相談支援を開始。本人は自閉症特性強く、能力のアンバランスさがあるため、本人の自己評価と実際できることの差が激しく、希望している単身生活や就労について、支援機関と共通目標を設定しにくい状況。本人は自己否定感強く、家族の育て方が悪かったとして家族への暴力に至っている。通院先医療機関や、訪問看護、ヘルパー支援で役割分担しながら、本人の希望に沿って段階的に本人の単身生活や就労に向けた支援を実施している。

◇事例4.

○虐待 ・ 触法 ・ サービス利用に至っていない ・ 支援拒否 ・ その他

タイトル：障害者虐待認定されたケースへのかかわり

性別：女性 年齢：40代

概要：夫からのDVにより障害者虐待認定された。これまで当センターは虐待支援会議の開催等で関係者との情報共有や意見交換を行ってきた。本人が自らSOSを出す過程や、自宅を出る決断を関係機関でサポートし、本人がシェルターへ避難されるに至ったが、単身生活開始のための住居や本人の求めるような就労先がなかなか決まらず、また、本人が希望するプライベートな人間関係の求めに支援機関が対応できない中で、本人も不安や被害感情が強まり、自宅に戻って怪我をされている状況がある。

◇事例5.

虐待 ・ 触法 ・ サービス利用に至っていない ・ 支援拒否 ・ ○その他

タイトル：本人の病状・医療面と本人の思いの影響による、支援チーム構築の難しさ

性別：女性 年代：30代

概要：生活音等から起こる筋緊張発作が日常的に起こり、ヘルパーの対応が不可欠である。本人の症状について未解明な部分も多く、筋緊張発作の理由や治療の方向性が定まらず、常時緊張感のある支援状況。また、本人自身の思い(好み)でヘルパーを選ぶところがあり、支援者確保が難しい状況も継続した。さらに、本人とヘルパーとの二者関係が強くなる傾向もあって、支援者同士の不信感が生まれやすい状況から、事業所が撤退することも続き、支援チームとしてまとめることが難しかった。生活環境の改善(引っ越し)や、筋緊張発作に対する理解が進んでいるが、安定した支援体制の構築に向けての課題は多い。

◇事例6.

虐待 ・ 触法 ・ サービス利用に至っていない ・ ○支援拒否 ・ ○その他

タイトル: 姉が支援に対して拒否的

性別: 男性 年齢: 50代

概要: 身体的な介助が必要であるが、相談員からのヘルパー支援追加調整の提案に対して、姉が「自分がするので要らない」と言われ、必要な介助が十分実施できていない。姉の都合で急な支援調整の依頼やキャンセルが多いことも課題に感じている。

◇事例7.

虐待 ・ 触法 ・ サービス利用に至っていない ・ 支援拒否 ・ ○その他

タイトル: 摂食障害と運動過多での入院リスクが高い

性別: 男性 年齢: 30代

概要: 病院から指導されている摂取カロリーや運動量を守ることができず体調悪化がある。活動をセーブするために事業所への通所調整も行うが、寝る時間を削って運動をすることや、自身の判断でのカロリーの減量することが続いた。通常のモニタリング回数よりも増やして状況確認をしてきたが、事実を話されず、入院治療に至った。今後退院に向けての支援調整を行っていく予定である。

◇事例8.

虐待 ・ 触法 ・ サービス利用に至っていない ・ ○支援拒否 ・ その他

タイトル: 近隣のマンション管理会社から迷惑行為に関する相談

性別: 男性 年齢: 60代

概要: 近隣のマンション管理会社より「マンション内に入ってごみを捨てる人がいる」と相談の電話がある。管轄の障害保健福祉課や社会福祉協議会への連絡共有を行うが、入院に至る。退院に向けて病院訪問を行うが、本人の支援に対する拒否強く、直接の関わりを持つことができていない。

◇事例9.

虐待 ・ 触法 ・ ○サービス利用に至っていない ・ ○支援拒否 ・ その他

タイトル: 外出の希望はあるもののこだわりが強く、母以外の人と関係構築ができない

性別: 女性 年齢: 50代

概要: 訪問看護の関わりの中で、本人から「買い物へ行きたい」との希望がでてきたため、医療機関から当センターへ移動支援利用調整の依頼があった。本人は母への要望強く、母から拒否をされると食事をとらない等の行動をとっている。支援には積極的ではない。本人との関係構築のため、訪問を続けているが、本人と話す機会は得られていない。

◇事例10.

虐待 ・ ○触法 ・ サービス利用に至っていない ・ 支援拒否 ・ その他

タイトル: 夫との関係で解離症状があらわれ、万引きに至ったケース

性別: 女性 年齢: 40代

概要: 夫との関係からフラッシュバック、リストカット、失声、他人格出現(夫との関係でのみ生じる)等の症状があらわれる。解離時にドラッグストアで万引きをして警察対応となり、以後警察から時折任意で呼び出しをうけている。現在は夫と離婚をして、解離症状も出ていないが、経済面や家事を元々に依存をしていたため、計画相談支援としてヘルパー支援を調整し、訪問看護と連携しながら本人の単身生活をサポートしている。

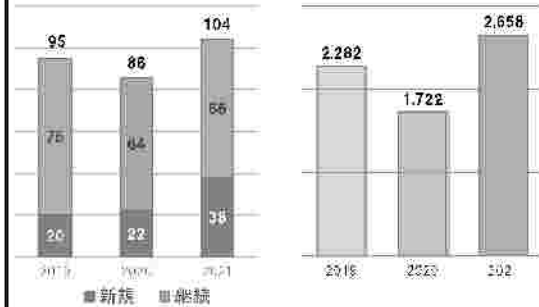
『こころのふれあい交流サロン 実績』

こころのふれあい交流サロン
「なごやかサロン」

1. 基礎事業 利用者(当事者のみ)

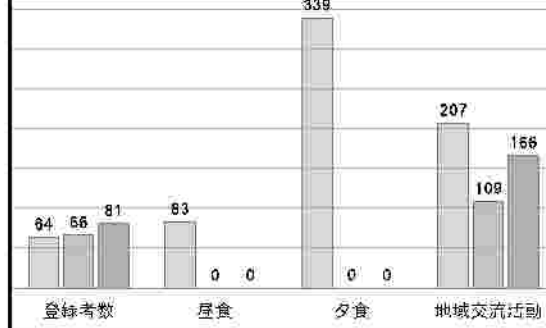
来所者(実数)

来所者(延数)

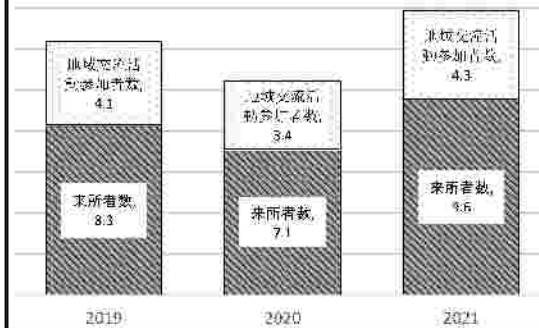


2. 基礎事業 利用状況

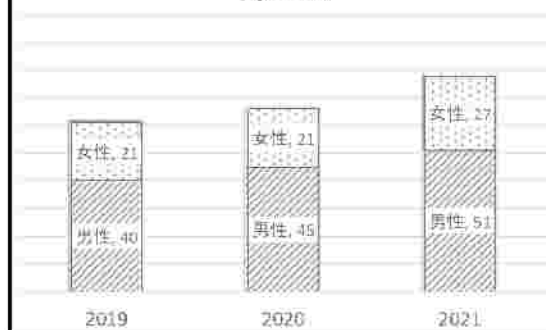
■2019 ■2020 ■2021



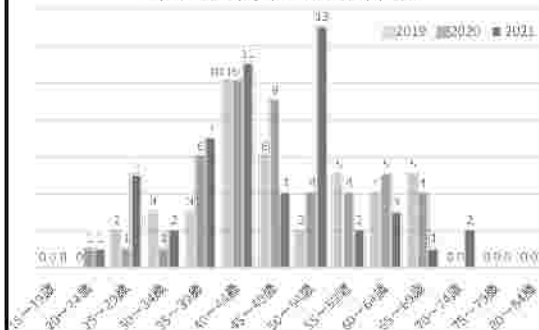
3. 基礎事業 1日(1回)当たりの利用数



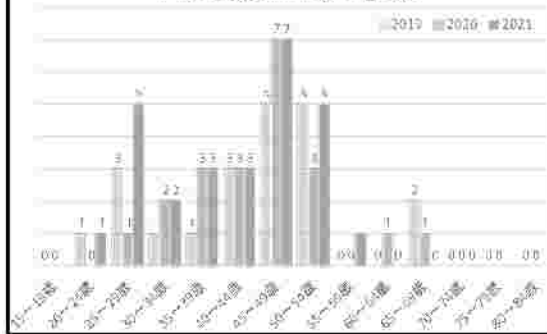
4-1. 基礎事業 登録者男女比



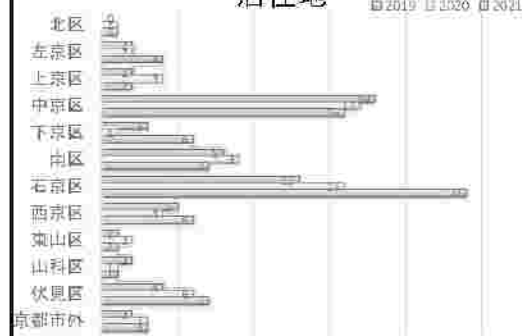
4-2. 基礎事業 登録者年代別男性利用者数



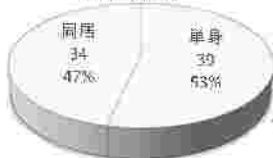
4-3. 基礎事業 登録者
年代別女性利用者数



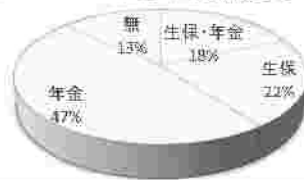
4-4. 基礎事業 登録者
居住地



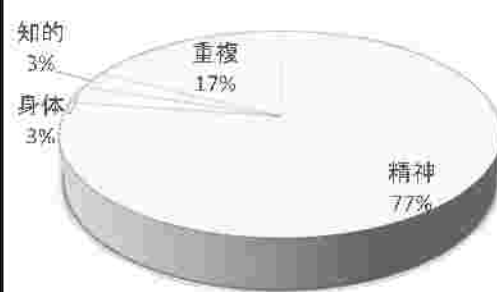
4-5. 基礎事業 登録者
居住形態



4-6. 基礎事業 登録者
年金・生活保護等



4-7. 基礎事業 登録者
障害種別



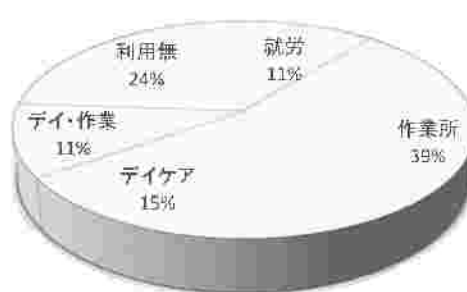
4-8. 基礎事業 登録者
居宅介護

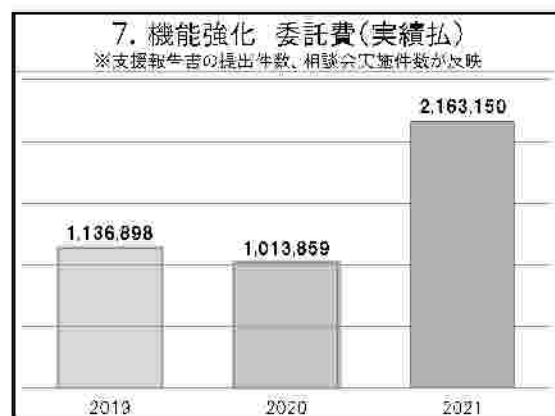
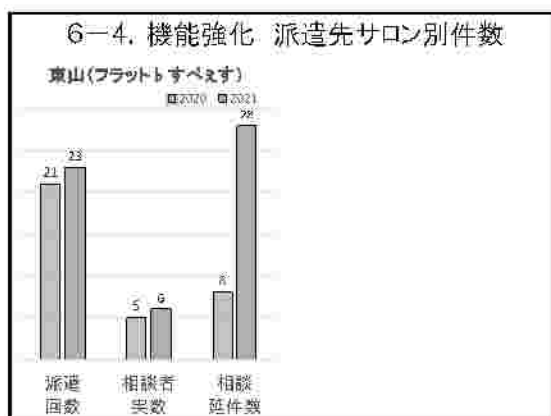
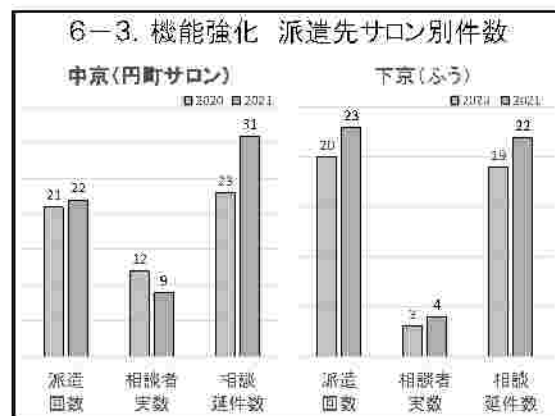
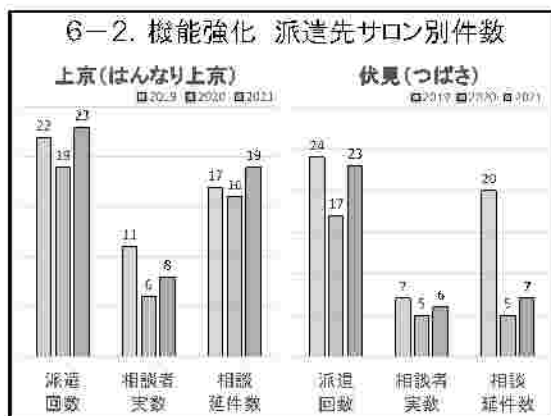
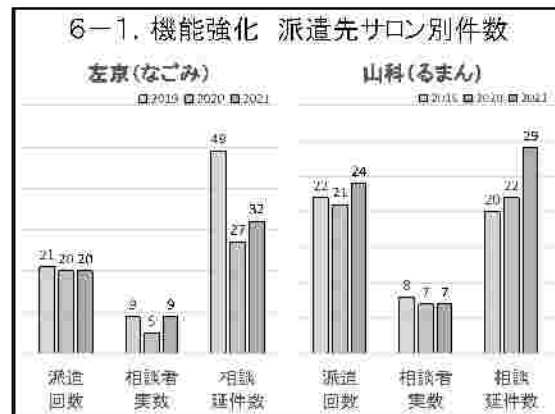
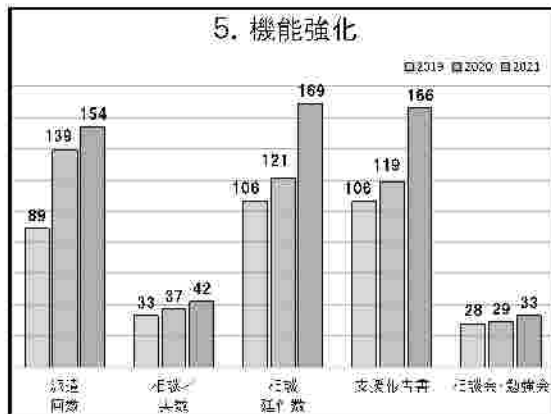


4-9. 基礎事業 登録者
訪問看護



4-10. 基礎事業 登録者
就労・作業所・デイケア





『グループワーク活動一覧』

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

日付	時間	内容	人数	
4/4 (日)	13:30~14:45	当事者会	2人	6人
4/24 (土)	13:30~14:10	話し合い	4人	
5/2 (日)	13:30~14:10	当事者会	2人	12人
5/22 (土)	13:30~14:20	話し合い	6人	
5/29 (土)	13:30~15:30	生活相談会	4人	
6/6 (日)	13:30~13:50	当事者会	3人	13人
6/19 (土)	13:30~14:30	話し合い	8人	
6/26 (土)	13:30~15:30	生活相談会	2人	
7/4 (日)	13:30~14:10	当事者会	4人	9人
7/24 (土)	13:30~14:30	話し合い	3人	
7/31 (土)	14:00~15:15	生活相談会	2人	
8/1 (日)	13:30~14:20	当事者会	6人	17人
8/7 (土)	* 3:30~	ボードゲーム	2人	
8/28 (土)	13:30~14:20	話し合い	7人	
8/28 (土)	14:20~15:30	生活相談会	3人	
9/5 (日)	13:30~14:30	当事者会	5人	10人
9/18 (土)	13:30~14:30	話し合い	3人	
9/25 (土)	* 1:30~12:10/14:30~15:14	生活相談会	2人	
10/3 (日)	13:30~13:40	当事者会	3人	19人
10/23 (土)	13:30~14:30	話し合い	5人	
10/31 (土)	13:30~14:20	ハロウィンイベント(クイズ、落語、ドングリ等)	11人	
11/7 (日)	13:34~13:40	当事者会	3人	10人
11/20 (土)	13:30~14:15	話し合い	5人	
11/27 (土)	* 2:00~12:30/14:00~14:30	生活相談会	2人	
12/5 (日)	13:30~13:40	当事者会	4人	18人
12/18 (土)	13:30~14:10	話し合い	2人	
12/25 (土)	13:30~14:30	クリスマス会(茶会、ダンス発表、プレゼント交換、歌謡会)	12人	
1/9 (日)	13:30~14:00	当事者会	3人	15人
1/9 (日)	14:10~14:30	サポートスタッフによる大正琴演奏	3人	
1/22 (土)	13:30~14:30	話し合い	6人	
1/29 (土)	13:30~15:00	生活相談会	3人	
2/12 (土)		ボードゲーム	8人	17人
2/13 (日)	11:00~11:10	当事者会	2人	
2/19 (土)	13:30~14:10	話し合い	5人	
2/26 (土)	* 3:30~14:00/14:30~15:30	生活相談会	2人	
3/5 (土)	13:20~13:45	サポートスタッフによる大正琴演奏	9人	20人
3/6 (日)	13:30~14:00	当事者会	3人	
3/19 (土)	13:30~14:20	話し合い	6人	
3/26 (土)	13:30~15:00	生活相談会	2人	

グループワーク実施件数・参加者数	39 件	166 人	平均 4.3 人
(うち、相談会・勉強会実施数)	33 件	121 人	平均 3.7 人)
(うち、レクリエーション実施数)	6 件	45 人	平均 7.5 人)

『苦情対応』

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

◇苦情対応1.

タイトル：郵便物送付先の記入ミス

対応月：令和3年10月

苦情内容：計画相談の対象利用者の自宅（マンション）に書類を送付したが、送付先の記載ミスにより書類が届かなかった。後日、郵便物が開封された状態でマンションのエントランスにある掲示板に貼り付けられており、それを発見した利用者家族より苦情の連絡が入った。確認したところ、部屋番号の記載ミスにより同じマンション内の別のポストに投函されていたことが分かった。その部屋の住民が開封後に掲示板へ貼り付けたと思われる。

対応結果：個人情報の漏洩につながる事態であり、本人と家族に電話で謝罪した他、関係機関への連絡と京都市に対して事故報告を行った。その後、今回の件に関する被害報告は受けていないが、再発防止に向けて郵送する際には他職員との二重チェックにより送付ミスをなくす取り組みの重要性を再確認した。

◇苦情対応2.

タイトル：支給決定内容の変更手続きが遅れたことで京都市より指摘を受けた

対応月：令和4年3月

苦情内容：令和3年2月にサービス等利用計画（案）を作成し、一旦サービスの支給量が確定したが、翌月に入ってから2月のサービス提供実績が決定された支給量を超えていたことが分かり、急遽京都市に対して支給量の変更手続きを行った。その際に、支給量を超える状況が分かった時点での相談がなかったことの指摘を受ける。また、支給決定前に遡って変更するは出来ないとの回答があったため、2月実績に関してはサービス提供事業所が請求出来ず、大きな損失が発生する事態になり兼ねない状況となった。

対応結果：京都市の担当者とやりとりする中で、支給量を変更するタイミングの認識にずれがあったこと（コミュニケーションエラー）、今後は支給量を超えることを確認した時点で京都市に連絡することを確認した上で、今回は2月に遡って支給量の変更が認められたため、事業所の損失は発生していない。

◇苦情対応3.

タイトル：相談員変更依頼

対応月：令和4年2月～3月

苦情内容：計画相談支援の利用者より、「担当の相談員と話をする度に苦しくなる。今の支援時間でも大変なのに、病状が改善したらサービス量を減らすと言われた。ダイレクトに言われることや分析されること、機械的な対応に感じられることがあってしんどい。相談員の交代を希望したい」との訴え。

対応結果：所内MTで検討した結果『業務量の課題があり、他の相談員に代われる者がいないこと』『現在担当している相談員の対応を改めていくことはできること』を利用者へ伝え、今後相談を受ける際には、困りごとを聞いて受け止めていくことを重視し、支援の必要性については関係者との意見交換を重ねて検討することで利用者の同意得られ、担当の相談員が支援継続することに決まる。

◇苦情対応4.

タイトル： 訪問延期が重なることでの不信感

対応月： 令和3年10月

苦情内容： 職員が家庭の事情で急遽休む日が続き、本人のモニタリング訪問が延期され、本人の不信感に繋がった。

対応結果： 本人がモニタリング訪問を拒否された為、関係機関と状況を共有し、本人の介入希望があった際に介入する方針を確認。本人より受診同行等の希望があったことをきっかけに、モニタリング訪問も含め、支援再開している。

◇苦情対応5.

タイトル： 相談員から送信されたメール内容に失礼と感じた

対応月： 令和4年3月

苦情内容： 通所先から1人で帰る練習をし始めていた利用者に対して、相談員から「ヘルパーさんがいなくてもいいですか？」とメールを送ったことに対して、利用者から「失礼だと思った。一人で帰ることができると思われず、信頼してもらえていないとショックを受けた」との苦情を受ける。

対応結果： 開所時間内に本人へ電話ができず、メールで確認することになったのだが、相談員が時間的余裕のない中で作成した文面だったことを反省。利用者へ直接電話をして、メールの文章の意図を説明し、「本人のペースを尊重する」ことで理解を得た。

◇苦情対応6.

タイトル： サロンでいつもマスクを外して過ごしている人がいる

対応月： 令和3年5月

苦情内容： 「前にもお話しましたが、サロンに来る時やサロンから帰る時はマスクをしています。サロンでパソコンを見ている時、いつもマスクを外している男性のメンバーさんがおられます。マスクができないのであればフェイスシールドを使用するなどして欲しいです。そのメンバーさんがおられる間ずっと気になって落ち着いてサロンで過ごすことができません。よろしくお願いします。」 ※サロン意見箱より

対応結果： 「貴重なご意見ありがとうございます。お返事遅くなりました。利用者の方には来所された際、必ず検温とマスクの着用をお願いしています。飲食の際、外されてそのままになっている方も時にはおられ、気づいた折には改めてマスクの着用をお願いしています。どうぞご協力をお願いします。」
※掲示にて返答

◇苦情対応7.

タイトル： スタッフの対応

対応月： 令和3年10月

苦情内容： サロンへの郵便、意見箱等へ「スタッフが個人的なことに立ち入ってくるのがしんどい」との苦情が何度もあった。利用者と面談の機会をもつと、利用者より「世間話や雑談は問題ないが、仕事のこと等個人的なことを色々聞いてこられて、サロンでは話題にされたくないと感じた」との話。

対応結果： 当該スタッフに対して、利用者の想いを伝え、傾聴するように指導した。利用者に対しては「その場で嫌だと感じたことは嫌だと伝えてもらったほうがよい」「なかなか言いにくいという状況あれば、また意見箱等を活用してほしい」と伝え、理解を得る。

『実習、ネットワーク、研修』

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

1. 実習・見学 受け入れ

日程	所属先	人数
8月11日～9月10日(13日程)	佐賀大学社会福祉学部臨床心理学科 精神保健福祉援助員	1名

2. 地域での障害者（児）支援への参加

日程	時間	会議名	場所	参加者名
4月1日	12:00～12:00	中部障害者地域生活支援協議会事務委員会	法人会議室2004	梶井弘
4月13日	16:30～17:45	地域課題研究会担当委員会（2021年度第1回）	リノ・クルマ シンガポール山荘	梶井弘 山本洋
4月15日	18:00～18:50	相談支援専門員カフェ（令和3年度第1回）	上京区総合庁舎4F会議室	山本洋
4月15日	12:00～12:00	京都市中部障害者地域生活支援協議会運営会議	トキ区役所	梶井弘 中塚了
4月17日	13:20～13:35	ヒアリング・ポスターセッション発表会（及びHugoboss通信作成）	3階会議室	田中聡一
4月18日	13:22～13:22	LEADER 業務の連携	ビズの会・成城	橘彩香
4月21日	14:00～17:00	京都府社会福祉施設協議会役員会	戸本館	梶井弘 小塚了
4月22日	12:00～11:30	第1回 地域移行運営MT	2F会議室	梶井弘 田中聡一 高瀬加帆
4月23日	12:00～12:00	京都府ピアサポート研修運営会議	3階会議室	出口聡一
4月28日	13:30～14:50	中京区社協（NPO支援員）についての意見交換会	トキ区と協	中塚了 梶井弘 中村美由 田中聡一
4月29日	12:30～12:00	タレント・ポスターセッション 担当者会議	2004	梶井弘 橘彩香 中塚了
4月29日	14:30～15:30	令和3年度下京区こころのネットワーク第1回実務者会議	トキ区役所2階・多目的室	橘彩香 中村美由 中塚了
4月29日	18:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業実務者会議	光臨の会 協成会室	梶井弘 田中聡一 高瀬
4月30日	12:00～12:00	中京スクリーンワーク事務局会議	レオパレスセンター	田中聡一
5月6日	12:00～12:00	中部障害者地域生活支援協議会事務局会議	法人会議室2004	梶井弘 中塚了
5月7日	12:10～12:00	京都府ヒアリング・ポスター研修打ち合わせ	3階会議室	田中聡一
5月11日	12:00～12:45	令和3年度京都市支援区分認定調査員研修	インフォスペース2004	小村美由
5月14日	16:20～17:30	京都府ピア研修打ち合わせ（障害福祉サービスの実施と実務）	3階会議室（2004）	橘彩香
5月15日	13:20～14:50	ピアサポート研修打ち合わせ	3階会議室	高瀬加帆 出口聡一
5月18日	12:00～12:00	京都市精神障害者地域移行促進事業実務者ミーティング	光臨の会 協成会室	梶井弘 田中聡一 高瀬加帆
5月18日	12:00～11:30	地域移行運営MT	2F会議室	梶井弘 田中聡一 高瀬加帆
5月20日	12:00～12:00	京都市中部障害者地域生活支援協議会運営会議	下京区役所	梶井弘 中塚了
5月21日	18:00～22:00	精神医療福祉関係者との懇談会	2004	出口聡一
5月21日	18:00～22:00	京都府福祉士会と関係関係者の懇談会	1階第1号（2004）	田中聡一
5月24日	14:30～15:30	令和3年度下京区こころのネットワーク第2回実務者会議	トキ区役所2階・多目的室	橘彩香
5月26日	13:20～13:00	いなか屋前地域移行会議	いなか屋前 会議室	田中聡一
5月26日	18:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業実務者会議	光臨の会 協成会室	梶井弘 田中聡一 高瀬加帆
5月28日	12:00～12:00	京都府ピアサポート研修運営会議	3階会議室（2004）	田中聡一
6月2日	12:00～12:00	中部障害者地域生活支援協議会事務局会議	法人会議室2004	梶井弘
6月15日	14:20～14:35	ヘルパーステーション・コンソルタ 新規開所挨拶	支援センター「なごやか」 地下	橘彩香
6月15日	15:00～15:00	中部障害者地域生活支援協議会事務局会議	2004	梶井弘
6月18日	14:20～14:30	1Fエントランス型来客 挨拶	支援センター「なごやか」 3階第1号	高瀬加帆 小村美由
6月18日	14:25～14:30	五方上原ヘッドアリアー研修の挨拶	2階第1号	高瀬加帆
6月18日	12:00～11:30	地域移行運営MT	2F会議室	梶井弘 田中聡一 高瀬加帆
6月17日	18:00～17:25	地域課題研究会担当委員会（2021年度第2回）	アスファクトむさし	梶井弘 山本洋
6月17日	18:00～13:50	相談支援専門員カフェ（2021年度第2回）	上京区総合庁舎4F会議室	山本洋
6月17日	12:00～12:00	京都市中部障害者地域生活支援協議会運営会議	トキ区役所	梶井弘 小塚了
6月18日	12:00～12:50	京都府ピアサポート研修打ち合わせ	3階会議室（2004）	出口聡一
6月24日	13:20～13:00	いなか屋前地域移行会議	いなか屋前 会議室	田中聡一
6月23日	18:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業実務者会議	光臨の会 協成会室	梶井弘 田中聡一 高瀬加帆

6月25日	10:00～11:50	京都府ピアリポート刊後運営会議	2階会議室（2000）	高瀬加帆 田中悠
6月28日	10:00～11:20	ピアNE3広域会議	1階 桑月田	高瀬加帆 田中悠
7月1日	10:00～12:00	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議	法人会議室2000	新井祐 中條了
7月8日	10:30～12:00	グループホーム専門部会 担当者会議	2000	新井祐 中條了
7月12日	10:30～11:45	支援センタ 連絡会議（令和3年度第1回）	なごやか分庁会議 第4会議室	中條了 山本洋
7月12日	10:00～12:00	ナロンに関する話し合い	会議室	山本洋 中條了
7月18日	10:00～11:00	京都府中部障害者地域自立支援協議会事務局会議	法人会議室（リモート）	新井祐
7月14日	09:00～12:00	小京ネットワーク事務局会議	小京保健福祉センター	田中悠
7月15日	10:00～12:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会運営会議	下京区役所	新井祐 中條了
7月16日	08:30～11:30	地域移行運営MT	2階会議室	新井祐 田中悠 高瀬加帆
7月20日	10:30～11:30	東京ネットワーク関係者会議	小京保健福祉センター 2階	田中悠
7月21日	10:00～12:00	丹波田原障害者自立支援協議会相談支援部会「相談支援担当者」打ち合わせ	2000	田中悠
7月21日	10:00～12:00	京都府ピア研修打ち合わせ	2階会議室（2000）	田中悠
7月26日	10:30～12:45	いなかの会 二樓座	2階の会	中村美由
7月28日	10:30～12:00	いなかの会 地域移行会議	いなかの会 会議室	田中悠
7月28日	08:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業委員会会議	六条の会 5階会議室	新井祐 田中悠 高瀬加帆
7月29日	10:00～12:00	京都府ピアサポ 研修運営会議	2階会議室（2000）	高瀬加帆 田中悠
7月31日	10:00～11:00	ピアNE3広域会議	2階会議室	高瀬加帆 田中悠
7月31日	08:30～12:30	ピアサポーターWAF会議（2000）	2階会議室（2000）	高瀬加帆 田中悠
8月4日	10:30～12:00	中部障害者地域自立支援協議会グループホーム部会部会協議会	2000	新井祐 中條了
8月6日	10:00～11:10	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議	5階法人会議室（2000）	新井祐
8月9日	10:00～11:00	いなかの会 ぬばえの会打ち合わせ	いなかの会	田中悠
8月10日	10:00～11:00	こころのふれあい交流サロンに関する話し合い	こころのふれあいセンター（2000） ぬばえの会（2000）	中條了 山本洋
8月12日	10:30～11:50	京都府ATより、DMATの活動紹介と普及啓発への協力依頼	2階の会 5階会議室	中條了 山本洋
8月12日	10:30～11:30	先進国によるトレーニング	六条の会 5階会議室	新井祐 山本洋
8月13日	10:30～11:00	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議	法人会議室2000	新井祐
8月19日	10:00～12:00	相談支援専門員カフェ（令和3年度第3回）	1階相談室 / 2階会議室	山本洋
8月19日	10:00～12:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会運営会議	トキ区役所	新井祐 中條了
8月19日	10:15～11:00	地域移行運営MT	2階会議室	新井祐 田中悠 高瀬加帆
8月21日	10:27～11:27	佛教大学・泉先生より当事者会についての話し合わせ	六条の会 2階席	山本洋
8月25日	10:00～11:00	いなかの会 地域移行会議	いなかの会	田中悠
8月25日	08:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業委員会会議	2階の会 5階会議室	新井祐 田中悠
8月26日	10:30～11:45	医療的ケア専門部会 担当者会議	2000	中條了
8月26日	10:00～12:30	京都府ピアサポ 研修運営会議	2階会議室（2000）	田中悠 高瀬加帆
8月27日	10:30～12:00	グループホーム専門部会 担当者会議	2000	新井祐 中條了
8月28日	10:10～11:45	ピアNE3広域会議	2階会議室	高瀬加帆 田中悠
8月30日	10:10～11:15	地域課題研究会（令和3年度第3回担当者会議）	2000オンライン（2階の会 5階会議室）	新井祐 山本洋
9月3日	10:00～12:00	京都府農工会 司法と医療・福祉の連携	2階会議室（2000）	田中悠
9月7日	10:00～11:00	小京区福祉推進ネットワーク会議	2000	新井祐
9月10日	10:20～12:20	就労継続型事業所（Shake Hands）後援会 広	Shake Hands事業所内	小村美由
9月14日	10:00～11:40	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議（リモート）	法人会議室	新井祐
9月16日	10:30～11:43	ぬばえの会（ピアサロン）※2000	いなかの会	田中悠
9月16日	10:00～12:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会運営会議	トキ区役所	新井祐 中條了
9月17日	10:00～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業委員会	六条の会 5階会議室	新井祐 山本洋 高瀬加帆 田中悠
9月18日	10:00～11:20	ピアNE3広域会議	2階会議室	田中悠
9月22日	08:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業委員会	六条の会 5階会議室	新井祐 田中悠 高瀬加帆
9月24日	10:30～12:00	グループホーム専門部会 担当者会議	2000	新井祐 中條了 城島弘幸
9月29日	09:49～10:49	ピアリポーター勉強会	2階会議室+2000	田中悠
9月30日	10:40～11:40	川越病院 事業説明会	川越病院	田中悠
10月1日	10:05～11:05	京都府ピア研修打ち合わせ	2000	田中悠
10月6日	10:00～11:00	ぬばえの会 打ち合わせ	いなかの会	田中悠

10月7日	18:30～21:00	支援センターにしきょう（松三氏）との新報作りに関する話し合い	大多の会 会館第2	中條了 山本洋
10月8日	17:50～19:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会事務会議2020	協会第2	梶井弘
10月14日	18:00～19:00	お城課題研究会第1回懇談会 講師との打ち合せ	レーム ス トー	新川浩 山本洋
10月15日	18:00～17:10	京都市中部障害者地域自立支援協議会地域移行研修委員会担当会議	法人会議室（700M）	新川浩
10月16日	10:00～11:00	びおWEB広報会議	協会第2	田中裕一
10月20日	10:30～11:00	中部障害者地域自立支援協議会事務会議	200M	梶井弘 中條了
10月21日	18:00～22:00	相談支援専門員カフェ（2021年度第4回）	ハービッド（協会会議室）	山本洋
10月21日	10:00～12:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会報告会第1	ト京区役所 3階多目的ホール	梶井弘 中條了
10月21日	13:00～14:30	京都をビュリポーター研修「ハルル」	700M	田中裕一
10月22日	10:00～12:00	京都市精神障害者地域移行促進事業実行委員会	大多の会 会館第2	梶井弘 田中裕一
10月27日	19:00～19:00	いわくら視覚支援移行会議	いわくら病院	田中裕一
10月27日	18:20～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業実行委員会	大多の会 5階会議室	新川浩 田中裕一
10月28日	13:30～17:35	お城課題研究会 本報との打ち合わせ	ワークステーションがらんどう	梶井弘 山本洋
11月2日	18:00～18:40	お城課題研究会第1回懇談会	ふじアールオム第2会議室	山本洋 梶井弘
11月2日	18:40～17:00	お城課題研究会担当者会議（令和3年度第5回）	ふじアールオム第2会議室	梶井弘 山本洋
11月5日	14:00～13:30	障害者就業生活支援センター研修会議（令和3年度第2回）	200Mオンライン	中條了 山本洋
11月5日	18:15～17:40	中部自立支援協議会事務局と協会の支援学校との意見交換	三軒倉茶屋第2	梶井弘
11月14日	12:00～11:35	びおWEB委員会	協会第2	田中裕一
11月15日	14:30～15:30	令和3年度下半期のネットワーク第5回発表者会議	下京区役所2階 多目的室	焼畑弥香
11月15日	12:00～13:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会事務局会議2020	協会議室	梶井弘 中條了
11月17日	12:30～14:20	中京こころ・愛 ふれあいネットワーク後援会	下京区役所 4階 会議室	田中裕一
11月17日	12:00～12:00	京都市精神障害者地域移行促進事業ミツィンク	大多の会 会館第2	新川浩 田中裕一
11月18日	10:00～12:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会報告会第2	ト京区役所	梶井弘 中條了
11月24日	19:00～18:00	いわくら視覚支援移行会議	いわくら病院	田中裕一
11月24日	18:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業実行委員会	大多の会 5階会議室	梶井弘 田中裕一
11月26日	18:30～13:00	ゲル・ラボ 本門第1回 担当者会議	オンマイク	梶井弘 中條了
12月2日	10:00～11:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会事務局会議2020	協会議室	梶井弘 中條了
12月6日	14:30～16:30	令和3年度京都市内医療機関制度運営協議会	700M	中條了
12月7日	10:21～12:21	京都ミレニアムライオンズクラブ	丸の内ビル	中條了
12月8日	14:00～15:00	花型人学二品イミタ学生見聞聴研対	大多の会 会館第2	山本洋
12月8日	18:00～14:00	江波里からのヒアリング	大多の会 会館第2	梶井弘 中條了 山本洋 田中裕一
12月9日	12:00～12:00	京都市精神障害者地域移行促進事業ミツィンク	大多の会 会館第2	梶井弘 田中裕一
12月10日	14:30～14:32	府政アワード授与式	協会議室（200M）	田中裕一
12月10日	17:00～18:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会事務局会議2020	協会議室	梶井弘 中條了
12月13日	18:00～17:00	お城課題研究会担当者会議（令和3年度第6回）	大多の会 会館第2	梶井弘 山本洋
12月15日	18:50～18:05	俳句人学美芝野台会	シロウエー堂200M第2	梶井弘
12月16日	18:00～20:00	相談支援専門員カフェ（2021年度第5回）	ハービッド（協会議室）	山本洋
12月18日	10:00～12:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会報告会第2	下京区役所	梶井弘 中條了
12月18日	10:11～11:30	びおWEB広報会議	協会議室	田中裕一
12月22日	13:00～18:00	いわくら視覚支援移行会議	いわくら病院	田中裕一
12月22日	10:30～12:00	ゲル・ラボ 本門第2回 担当者会議	700M	梶井弘 中條了
12月22日	18:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業実行委員会	大多の会 5階会議室	梶井弘 田中裕一
12月26日	10:30～12:00	2021年度第1回「精神障害者の福祉医療を連携する京都実行委員会」代表者打ち合わせ会議	京都市役所	中條了
12月28日	18:10～14:00	委託費削減に伴う京都市、江波里との話し合い	大多の会	梶井弘 中條了 山本洋
1月6日	10:00～11:15	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議（2020）	協会議室（200M）	梶井弘
1月18日	16:00～17:00	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議（2020）	協会議室（200M）	梶井弘 中條了
1月19日	13:40～18:45	事業紹介。二機修の電話	第2	中村美由
1月20日	15:20～18:00	めばえの会（ピアセロン）の打ち合わせ	いわくら病院	田中裕一
1月23日	10:00～12:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会報告会第2	下京区役所	梶井弘 中條了
1月27日	13:01～13:01	府政アワード授与式	協会議室（200M）	田中裕一
1月27日	13:30～14:30	ゲル・ラボ 本門第3回 担当者会議	700M	梶井弘 中條了
1月27日	10:00～12:00	京都市精神障害者地域移行促進事業ミツィンク	大多の会 会館第2	梶井弘 田中裕一
1月28日	13:00～16:30	退席支援会議	いわくら病院	田中裕一

1月26日	38:30～39:30	事業所紹介	支援センター なごやか 2F	中村美恵
1月26日	39:30～41:30	京都府精神障害者地域移行促進事業実行会議	多摩の森 5階会議室	坂井弘 田中聡一
1月27日	15:00～16:30	中央区福祉施設ネットワーク会議	200F	坂井弘
2月3日	15:00～16:00	事務局会議	オンライン	坂井弘 中條了
2月10日	17:30～18:30	事務局会議	オンライン	坂井弘 中條了
2月13日	14:00～16:00	令和3年度第2回京都府精神保健福祉施設協議会 役員会	オンライン	中條了
2月14日	13:30～14:30	京都山ここのふれあい文庫サロン運営懇談会（令和3年度第3回）	200Fオンライン	山本洋
2月17日	15:00～16:30	2月空白支援協議会運営会議	オンライン	坂井弘 中條了
2月17日	18:00～20:00	相談支援専門員カフェ（令和3年度第3回）	上京区民会館2F会議室	山本洋
2月17日	38:00～40:00	京都府精神障害者地域移行促進事業ミーティング	多摩の森5階会議室	坂井弘 田中聡一
2月18日	13:30～15:00	グレン プログラム専門員会 担当者会議	200F	坂井弘 中條了 植野敦青
2月18日	15:00～16:00	ピアサポーター勉強会	3階会議室、700F	田中聡一
2月25日	14:45～16:15	仁川総合支援学校からの施設見学	厚木市の生涯学習センター	山本洋
2月25日	17:00～18:30	鳴鶴総合支援学校からの施設見学	京都府の生涯学習センター	山本洋
3月2日	15:00～16:00	いづくらから地域移行会議	いづくらから施設	田中聡一
3月2日	15:00～16:00	いづくらから地域移行会議	いづくらから施設	田中聡一
3月2日	15:00～16:00	中部障害者地域自立支援協議会事務局会議（初回）	3階会議室（200F）	坂井弘 中條了
3月7日	15:00～16:15	東山総合支援学校からの施設見学	山本洋	田中聡一
3月11日	13:30～15:30	グレン プログラム専門員会 2021年度第2回オンライン懇談会	オンライン	坂井弘 中條了 植野敦青
3月11日	15:30～17:00	京都府ピアサポーター勉強会第2回	200F	田中聡一
3月15日	14:30～16:00	支援センター連絡会議	200F	中條了 田中聡一
3月17日	15:00～16:00	京都市小幡障害者地域自立支援協議会運営会議	下京区民会館	坂井弘 中條了
3月18日	38:30～39:30	ひまわりグループミーティング	3階会議室	田中聡一
3月18日	13:30～15:00	ひまわりグループミーティング	3階会議室	田中聡一
3月23日	38:30～39:30	京都府精神障害者地域移行促進事業実行会議	多摩の森 5階会議室	坂井弘 田中聡一
3月24日	15:45～17:00	医療的ケア専門員会 担当者会議	オンライン	中條了 植野敦青
3月25日	14:00～15:00	グレン プログラム専門員会 担当者会議	オンライン	坂井弘 中條了
3月28日	14:30～16:30	令和3年度下半期のネットワーク第2回実務者会議	上京区民会館2階 多摩の森	植野敦青

3. センター主催（共催）研修

日程	時間	研修名	研修先	研修参加人数	参加者名
5月15日	12:00～13:00	ピアサポーター勉強会第1回	3階会議室（200F）	12	高瀬加帆 田中聡一
5月17日	18:15～19:45	ピアサポーター勉強会	3階会議室及び200F	6	高瀬加帆 田中聡一
10月20日	13:30～15:00	第6回 グレン プログラム専門員会担当者会議	200F会議室	5	中條了 坂井弘 植野敦青
12月14日	15:00～16:30	地域移行支援研修会	京都市庁舎	30	坂井弘 中條了 田中聡一

4. 講師派遣

日程	時間	研修名	場所	参加者
5月18日	13:00～16:30	令和3年度若手・生協員支援基礎研修	200Fオンライン研修（関係事業所・協議会等）	山本洋
6月22日	15:00～16:30	京都府相談支援センター若手研修会第1回	京都市庁舎	坂井弘
6月22日	16:30～18:00	京都府相談支援センター若手研修会第2回	京都市庁舎	坂井弘
7月14日	15:00～16:10	いづくらから地域移行促進協議会	3階会議室（700F）	田中聡一
8月9日	13:12～14:12	京都府相談支援センター若手研修会第3回	ノーマー、15階会議室	坂井弘
9月15日	15:00～16:00	実習へのレクチャー	1階会議室	田中聡一
10月26日	15:00～16:00	京都府相談支援センター若手研修会第4回	ハートピア東山3F	坂井弘
11月4日	14:15～15:30	いづくらから地域移行促進協議会	3階会議室（200F）	田中聡一
11月5日	38:00～39:30	丹波国地域自立支援協議会（相談支援研修会）	3階会議室 ※200F	田中聡一
11月8日	12:30～14:00	ピアサポーター基礎研修（2日目）	200F（200F会議室）	田中聡一
11月8日	12:30～14:00	ピアサポーター基礎研修（2日目）	200F（200F会議室）	田中聡一
11月6日	38:30～39:30	令和3年度 相談支援専門員 研修会第1回	京都市庁舎	坂井弘
11月30日	38:30～39:30	相談支援専門員研修会第2回	京都市庁舎	坂井弘
12月7日	38:50～39:50	相談支援専門員研修会 2日目	京都市庁舎	坂井弘
12月17日	14:30～16:00	いづくらから地域移行促進協議会	3階会議室（200F）	田中聡一
12月27日	15:00～16:00	相談支援専門員研修会第3回	京都市庁舎	坂井弘
1月17日	38:00～39:30	相談支援専門員研修会第4回	京都市庁舎	坂井弘

2月27日	08:30～10:00	令和3年度京都市相談支援従事者研修（2日目）	京都市庁舎第2階 第2・3会議室	梶井弘
2月24日	08:50～10:00	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（3日目）	京都市庁舎第3階 B・C会議室	梶井弘
3月2日	08:50～10:30	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（4日目）	京都市庁舎第3階 B・C会議室	梶井弘
3月7日	08:50～10:30	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（5日目）	京都市庁舎第3階 B・C会議室	梶井弘

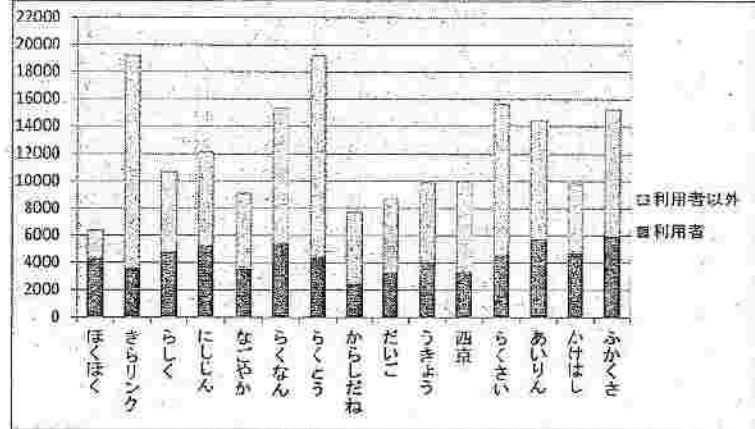
5. 派遣研修・他都市視察

日程	時間	研修名	場所	参加者
5月18日	10:00～10:00	はじめての広報誌づくり	協会議室（2F）	川口裕一
5月18日	13:30～14:30	第1回 京一の会	協エッセイ（705号）	川口裕一
6月17日	13:00～13:20	障害者ピアリポート研修の実施に関する説明会 ※/2020	社会福祉	高瀬麻帆
8月18日	13:00～17:00	令和3年度障害者虐待対応に関する研修	右京区若狭町民会連立1	山本洋
10月13日	14:40～16:10	京都文教大学でのピアリ研修	京大文芸学部	田中裕一
10月14日	13:20～14:50	京一の会	1004	田中裕一
11月8日	15:00～17:15	第4回京都市障害者地域共生支援センター 合同研修会	京都市庁舎第2階 おけぼりホール	山本洋 佐々木香
11月16日	08:30～10:30	令和3年度 相談支援専門員 現任者研修	みやこホール	中條了 梶井弘
11月17日	13:30～16:30	京都市生涯学習センターで生涯学習の普及・啓発事業	みやこホール 第2階 セミナー室	中村文志
12月7日	08:50～10:00	相談支援センター現任者研修（2日目）	みやこホール	中條了 梶井弘
12月18日	08:50～10:10	令和3年度 社会福祉法人役員・施設長等経営者研修	京都市公営住宅（2000）	山本洋
1月14日	13:00～15:00	第19回特別支援施設関係者との懇談会	協会議室	田中裕一
1月24日	13:00～17:30	トラウマ講座	協会議室（2004）	中村文志
1月24日	08:30～10:40	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（1日目）	京都市庁舎第2階 第2・3会議室	山本洋 田中裕一 梶井弘
2月15日	10:30～10:15	生涯学習推進ブラッシュアップセミナー（1日目）	オンライン	山本洋
2月16日	10:00～10:40	京都府社会福祉施設長会 企画研修	オンライン	中條了
2月16日	13:00～13:20	生涯学習推進ブラッシュアップセミナー	オンライン	中條了 梶井弘 山本洋 田中裕一
2月27日	08:40～10:40	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（2日目）	京都市庁舎第2階 第2・3会議室	梶井弘 山本洋 田中裕一
2月24日	08:30～10:40	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（3日目）	京都市庁舎第3階 B・C会議室	山本洋 梶井弘
2月25日	12:30～13:30	令和3年度施設長等経営者セミナー 経営者のためのストレスマネジメント	協会議室（2004）	山本洋
3月3日	08:30～10:45	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（4日目）	京都市庁舎第3階 B・C会議室	梶井弘 山本洋
3月7日	08:30～10:20	令和3年度京都市相談支援従事者主任研修（5日目）	京都市庁舎第3階 B・C会議室	梶井弘 山本洋

支援センターなごやか 資料⑧

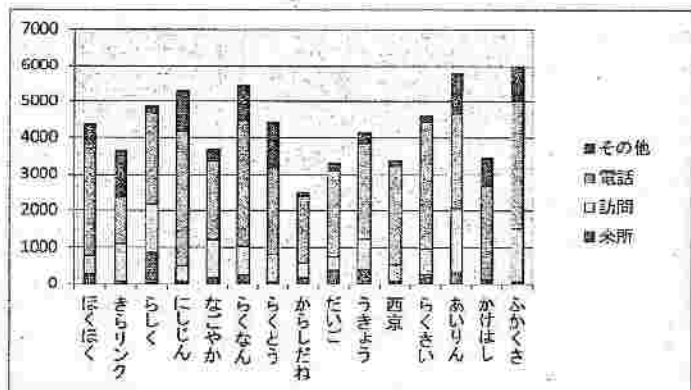
(R3.7.12 第1回障害者地域生活支援センター連絡会議資料1-1)

相談件数	※利用者(障害者本人、その家族)		
	利用者	利用者以外	合計
ほくほく	4345	2007	6352
きらリンク	3633	15616	19249
らしく	4863	5866	10729
にしじん	5304	8804	12108
なごやか	3667	5458	9125
らくなん	5452	9913	15365
らくとう	4439	14802	19241
からしだね	2503	5216	7719
だいご	3317	5427	8744
うきよう	4135	5781	9916
西京	3392	6610	9992
らくさい	4639	11048	15687
あいりん	5774	8611	14385
かけはし	4721	5071	9792
ふかくさ	6038	9258	15296
合計	66152	117486	183638



利用者の相談方法内訳

	来所	訪問	電話	その他
ほくほく	237	530	3030	518
きらリンク	35	1008	1283	1247
らしく	888	1301	2507	137
にしじん	108	388	3561	1147
なごやか	198	1011	2153	305
らくなん	230	776	3402	1014
らくとう	74	744	2367	1254
からしだね	133	375	1945	99
だいご	391	379	2338	209
うきよう	429	795	2341	269
西京	108	421	2702	151
らくさい	202	683	3435	204
あいりん	338	1714	2504	1120
かけはし	144	1276	2537	764
ふかくさ	94	1433	3475	1003

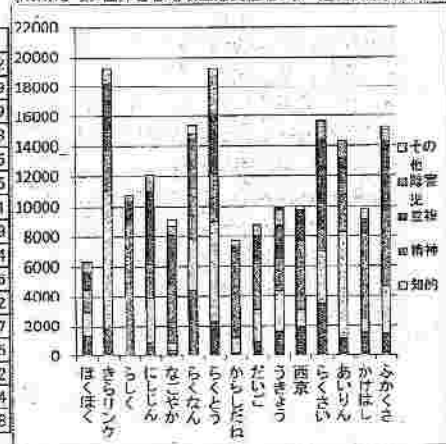


令和2年度相談件数(障害種別内訳)

	身体	知的	精神	重複	障害児	その他	合計
ほくほく	1350	1578	1507	1256	610	51	6352
きらリンク	1920	9173	2636	4507	1011	2	19249
らしく	2	93	8781	1476	372	5	10729
にしじん	878	3045	2230	4832	1097	26	12108
なごやか	354	499	3854	3402	545	471	9125
らくなん	4420	3432	3264	3401	302	546	15365
らくとう	2268	6669	3179	4108	2524	503	19241
からしだね	180	969	5732	432	43	363	7719
だいご	895	2156	3291	1700	667	35	8744
うきよう	1547	2784	2140	2167	1157	121	9916
西京	1896	1153	4608	2079	14	242	9992
らくさい	3432	3021	1416	6126	1157	5	15687
あいりん	1092	7201	3214	1714	1089	75	14385
かけはし	1435	996	3653	1053	0	655	9792
ふかくさ	1395	3199	5033	4742	682	211	15296
合計	23054	46468	53540	42995	11270	3311	183638

※全相談件数(利用者、利用者以外)の内訳

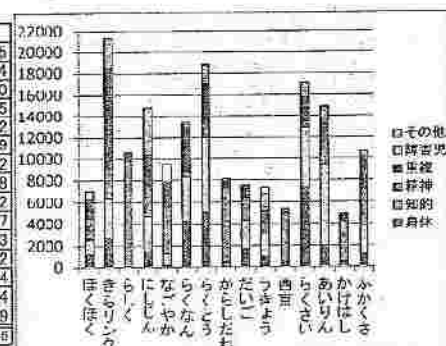
(R3.7.12 第1回障害者地域生活支援センター連絡会議資料)資料1-1



【参考】平成31年度相談件数(障害種別内訳)

	身体	知的	精神	重複	障害児	その他	合計
ほくほく	1121	1707	1193	1878	824	87	6825
きらリンク	2985	7488	1974	6078	1544	5	20074
らしく	33	193	9149	1117	136	3	10630
にしじん	1248	2872	2403	5650	1856	43	14205
なごやか	426	446	3215	2708	145	572	7512
らくなん	2354	2601	741	2311	424	128	6599
らくとう	3498	4491	2041	3327	2240	203	15892
からしだね	175	751	7862	415	3	502	9708
だいご	1215	3075	4305	750	753	12	10112
うきよう	1784	2964	1592	1928	1042	7	9317
西京	2216	405	4744	2678	62	288	10383
らくさい	2836	2597	485	6729	1568	7	14222
あいりん	1503	6737	2682	1654	976	0	13574
かけはし	1824	718	4062	1009	33	128	7774
ふかくさ	1124	2538	3925	3038	341	82	11049
合計	24344	39703	50384	41269	11977	2069	169748

※全相談件数(利用者、利用者以外)の内訳

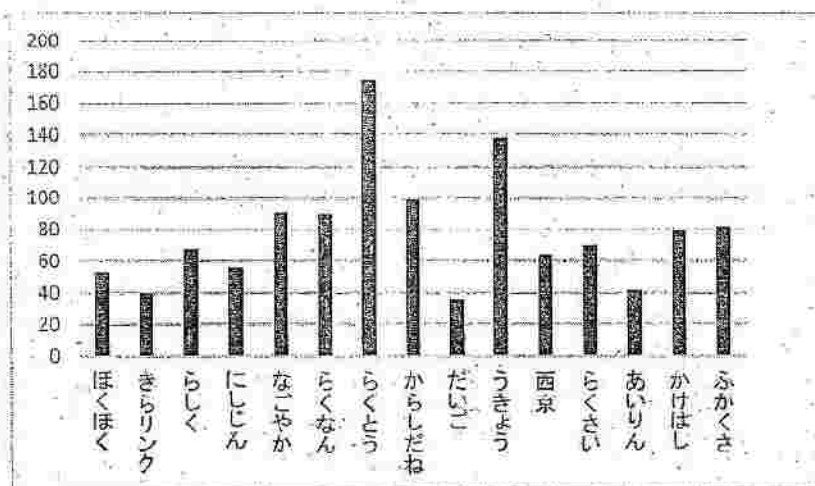


支援センターなごやか 資料⑧

(R3.7.12 第1回障害者地域生活支援センター連絡会議資料)資料1-1

令和2年度相談者(実利用人員)新規件数

	新規件数
ほくほく	53
きらリンク	40
らしく	68
にしじん	56
なごやか	91
らくなん	90
らくとう	175
からしだね	100
だいが	36
うきょう	138
西京	64
らくさい	70
あいりん	42
かけはし	79
ふかくさ	82
合計	1184



支援センターなごやか 資料⑨

(センター名) 京都市(中京区)地域生活支援センター「なごやか」

障害者地域生活支援センター職員の配置状況(令和3年4月1日現在)

就業形態 必要とするものに○を記入					職名	勤務形態 (必要とするものに○を記入)	氏名	生年月日	支援センター への所属	相談支援に係る 実務経験年数 (※1:平成元年を記入)	資格等 必要とするものに○を記入							その他 (記述式)
市庁(相談支援)	高齢者	障害者	外国人	児童福祉							相談支援専門員	社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護福祉士(専門)	介護福祉士(専門)	その他	
○		○	○	○	管理官 (所長) 相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	中條 了	1974(S49)年 8月15日	2015(H27)年8月	1998(H10)年4月～ 2003(H15)年3月、2003 (H27)年4月～2021 (R3)年3月(計11年)	○	○	○	○				福祉心士 介護支援専門員
○		○	○	○	副所長 相談支援 専門員 (兼任) (兼任)	○常勤・非常勤 (常勤換算 0.8人)	山本 洋	1978(S53)年 9月29日	2005(H17)年10月	2005(H17)年10月～ 2021(R3)年3月 (5年6ヶ月)	○		○					
○		○	○	○	(専任職) 相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	藤井 弘	1958(S33)年 10月12日	1999(H11)年8月	1998(H8)年4月～ 2021(R3)年3月 (計23年)	○		○					福祉心士 介護支援専門員
○		○	○	○	相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	高瀬 加帆	1992(平4)年 11月18日	2015(H27)年4月	2015(H27)年4月～ 2021(R3)年3月 (計6年)	○	○	○					介護職員初任者研修 (ホームヘルパー2級)
○		○	○	○	相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	城 紗希香	1980(S51)年 8月4日	2016(H28)年3月	2009(H21)年4月～ 2013(H25)年9月、2020 年(計)年4月～2021 (R3)年3月(計10年6 ヶ月)	○		○					認定心士
○		○	○	○	(主任) 相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	田中 聡一	1982(S57)年 7月7日	2016(H28)年4月	2008(H21)年4月～ 2013(H25)年4月、2014 (H26)年4月～2021 (R3)年3月 (計14年10ヶ月)	○		○	○				
○		○	○	○	相談支援 専門員 (兼任) (兼任)	常勤・非常勤 (常勤換算 0.8人)	中村 美恵	1986(S41)年 12月27日	2018(H30)年8月	2004(H18)年5月～ 2005(H19)年1月、2006 (H20)年5月～2021 (R3)年3月 (計15年8ヶ月)	○	○		○				専門士 介護支援専門員
					こころのふ れあい交流 サロン専任 職員(相談 員)	常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	表口 麻子	1982(S57)年 8月10日	2019(H31)年4月	2001(H13)年6月～ 2021(R3)年3月(計 19年10ヶ月)		○						

(センター名) 京都市(中京区)地域生活支援センター「なごやか」

障害者地域生活支援センター職員の配置状況(令和3年11月28日現在)

就業形態 必要とするものに○を記入					職名	勤務形態 (必要とするものに○を記入)	氏名	生年月日	支援センター への所属	相談支援に係る 実務経験年数 (※1:平成元年を記入)	資格等 必要とするものに○を記入							その他 (記述式)
市庁(相談支援)	高齢者	障害者	外国人	児童福祉							相談支援専門員	社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護福祉士(専門)	介護福祉士(専門)	その他	
○		○	○	○	管理官 (所長) 相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	中條 了	1974(S49)年 8月15日	2015(H27)年8月	1998(H10)年4月～ 2003(H15)年3月、2003 (H27)年4月～2021 (R3)年3月(計11年)	○	○	○	○				福祉心士 介護支援専門員
○		○	○	○	副所長 相談支援 専門員 (兼任) (兼任)	○常勤・非常勤 (常勤換算 0.8人)	山本 洋	1978(S53)年 9月29日	2005(H17)年10月	2005(H17)年10月～ 2021(R3)年3月 (5年6ヶ月)	○		○					
○		○	○	○	(専任職) 相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	藤井 弘	1958(S33)年 10月12日	1999(H11)年8月	1998(H8)年4月～ 2021(R3)年3月 (計23年)	○		○					福祉心士 介護支援専門員
○		○	○	○	相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	城 紗希香	1980(S51)年 8月4日	2016(H28)年3月	2009(H21)年4月～ 2013(H25)年9月、2020 年(計)年4月～2021 (R3)年3月(計10年6 ヶ月)	○		○					認定心士
○		○	○	○	(主任) 相談支援 専門員	○常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	田中 聡一	1982(S57)年 7月7日	2016(H28)年4月	2008(H21)年4月～ 2013(H25)年4月、2014 (H26)年4月～2021 (R3)年3月 (計14年10ヶ月)	○		○	○				
○		○	○	○	相談支援 専門員 (兼任) (兼任)	常勤・非常勤 (常勤換算 0.8人)	中村 美恵	1986(S41)年 12月27日	2018(H30)年8月	2004(H18)年5月～ 2005(H19)年1月、2006 (H20)年5月～2021 (R3)年3月 (計15年8ヶ月)	○	○		○				専門士 介護支援専門員
					こころのふ れあい交流 サロン専任 職員(相談 員)	常勤・非常勤 (常勤換算 1人)	表口 麻子	1982(S57)年 8月10日	2019(H31)年4月	2001(H13)年6月～ 2021(R3)年3月(計 19年10ヶ月)		○						

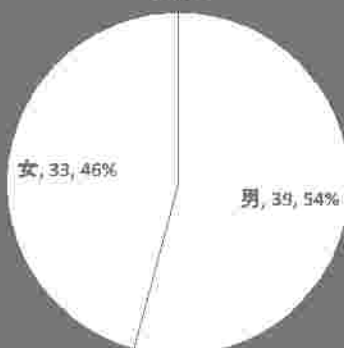
『新規相談概要』

職員ミーティングにて対応を検討した新規相談ケース(72件)の概要

- ・京都市障害者地域生活支援センター運営事業（相談支援事業※委託）
- ・指定特定相談支援事業（計画相談）
- ・指定障害児相談支援事業（障害児相談）
- ・指定一般相談支援事業（地域相談）

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

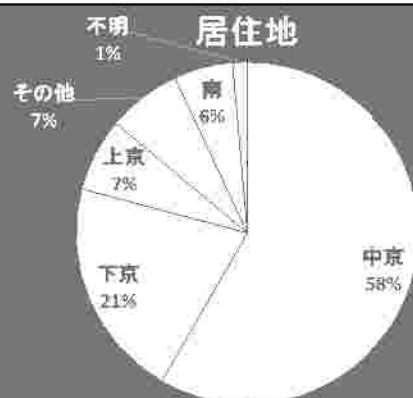
性別



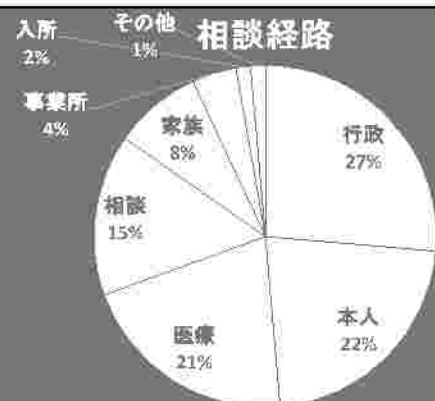
年代



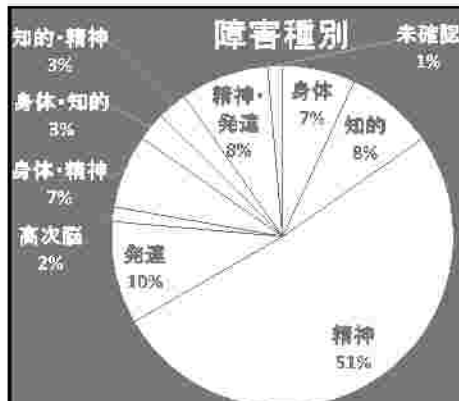
居住地

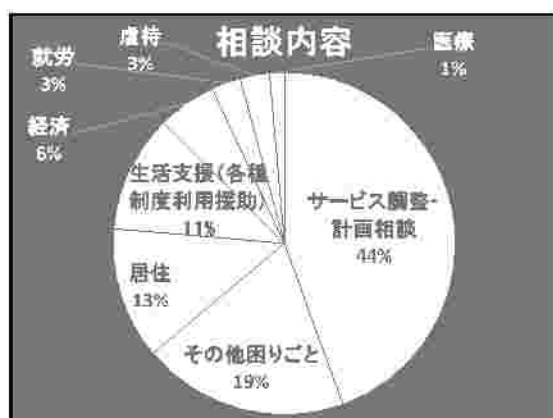


相談経路



障害種別





令和4年度以降における「こころのサポートふれあい交流サロン(仮称)」の 受託意向調査 回答とりまとめ

【確定版】

所在区	サロン・事業所名	意 向
北 区	ふれあいサロンぽれぽれ	受託
	特定非営利活動法人 恒河沙	受託
上京区	上京こころのふれあい交流サロン 「はんなり上京」	受託
左京区	ふれあい交流サロンなごみ	受託しない
	特定非営利活動法人 若者と家族のライフプランを考える会 (LPW)	受託
中京区	ふれあいサロン円町	受託
	こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」	受託
東山区	こころのふれあい交流サロン“ふらっとすべえす”	受託しない
山科区	こころのふれあい交流サロンるまんやましな	受託
下京区	下京こころのふれあい交流サロン 「コミュニティーサロンふう」	受託
南 区	ふれあいサロン“みなみ”	受託しない
	特定非営利活動法人 京都ARU	受託しない
右京区	ふれあい交流サロンてあとろ	受託
西京区	ふれあいサロンたんぽぽ	受託
	ふれあい交流サロン「にしきょう」	受託
伏見区	ふれあいサロンつばさ	受託

令和3年度 京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」 事業報告

1. 概要

(1) 職員体制

支援センター「なごやか」は相談員7名（相談支援専門員7名、うち2名はサロンとの兼務）体制で“京都市障害者地域生活支援センター運営事業”と“京都市精神障害者地域移行促進事業”を実施した。令和3年10月末に相談員1名が退職したため、11月から3月までは相談員6名（相談支援専門員6名、うち2名はサロンとの兼務）体制で事業を実施した。求人を出し、9月と12月に採用面接を行った結果、令和4年4月入職予定の職員1名を採用している。「なごやかサロン」は専任職員1名、兼務職員2名、サポートスタッフ5名とで“こころのふれあい交流サロン”の基礎事業であるサロン運営と機能強化事業である派遣相談等を行った。退職した職員は入職8年目の中堅職員で、委託相談、計画相談、地域相談、地域移行促進事業等、幅広く業務を担っていたため、引継ぎ等の業務調整が一定程度必要となった。令和3年度から役職者の変更があったことでは、施設長が地域協議会の事務局会議と運営会議に専任職員と出席して引継ぎを受けた。虐待判定会議には施設長と副施設長が専任職員とともに出席した。

(2) 委託費・給付費

（委託費）	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度
京都市障害者地域生活支援センター運営事業	29,825,545円	31,065,647円	26,625,313円
こころのふれあい交流サロン			3,479,652円
こころのふれあい交流サロン機能強化型実績払い分	1,136,898円	1,013,859円	2,163,150円
京都市精神障害者地域移行促進事業	4,021,450円	3,715,800円	3,799,800円

（給付費）	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画相談支援給付費	7,445,369円	7,694,652円	8,375,091円
障害児相談支援給付費	0円	255,012円	294,410円
地域移行支援給付費	616,649円	747,515円	185,920円

（委託費・給付費 合計）	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	42,429,262円	43,744,970円	44,737,416円

委託費では、こころのふれあい交流サロン機能強化型の実績払い分がこれまでと比べ2倍近くになっているが、実績払い分の単価が上がったためである。固定費は下げられているため合計金額の変化はない。計画相談給付費は、契約者数の増加に伴って年々上がっている。地域相談支援給付費は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で病院訪問ができなかったこと、また、職員の退職で新規ケースを受けられる体制になかったことから、請求金額は大幅に下がっている。

（３）実績数値

“京都市障害者地域生活支援センター運営事業”における相談者実数では新規も継続も増加している。相談者実数は、記録入力課題の影響を受けにくい数値であるため、実態に近い状況を表している。その他の件数については、記録入力課題の影響を受け、実態を大きく下回っていると思われる。ケース会議は令和２年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの会議が中止になったことが反映されているが、令和３年度はリモート開催が定着してきたこと等での件数増加と考えられる。

“京都市精神障害者地域移行促進事業”では、Zoomを活用して実務者会議を年間計画通り開催した。地域移行支援事業の利用検討件数や事業利用者数は、令和２年度よりも増加し、病院がコロナ禍での退院支援に慣れてきたことを感じるが、地域移行の実施病院数は令和２年度よりも減少し、取組みのある病院とそうでない病院との差が拡大したといえる。ピアサポートの活動数はコロナ禍で令和２年度と同様に低くなっているが、Zoom開催となった会議や講演会の影響で参加者数は増えている。普及啓発は、いわゆる病院で定期開催していた地域移行会議が再開されたため、令和２年度よりも増加した。

“こころのふれあい交流サロン”では、平成２６年以降下り続けてきた来所者数が初めて増加し、登録者も増えた。登録者では男女ともに２０代と３０代の増加率が高く、右京区と中京区在住者の割合が引き続き多い。令和２年度に新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域交流活動（グループワーク活動）も増加している。グループワーク活動の内容は、機能強化の実績である相談会・勉強会の実施がほとんどであるが、合伴同グアラスや茶話会が中止されている中、利用者からのニーズであった季節行事のレクリエーションも感染対策を講じて実施した。派遣相談では、派遣先による相談件数の差は大きいものの、相談延件数の合計は大きく増加した結果となっている。これは、なごやかサロン利用者の他サロン利用の拡大等の理由がある。

（４）新規相談

“京都市障害者地域生活支援センター運営事業”における令和３年度の新規相談者１０６名のうち、虐待判定会議出席のケースなどを除いた７２件の新規相談依頼について職員ミーティングで対応を検討した。平均して毎月６件の新規ケースを検討していることになる。ケースの内訳として、男女比では若干男性が多く、年代は５０代が最も多い３１%である。７０代、８０代の相談はほぼなく、それ以外の年代は児童も含め満遍なく相談がある。居住地では中京区が圧倒的に多く５８%を占めている。次に下京区が２１%と多い。上京区、南区は６%、７%と低く、それぞれの区に他の障害者地域生活支援センターがあるためと思われる。障害種別では精神障害が５１%。発達障害や高次脳機能障害、精神障害との重複障害も含めると８１%になる。相談経路としては、行政（区役所障害保健福祉課、生活福祉課、子どもはぐくみ室、児童福祉センター等）が最も多いが、医療機関や本人自身からの相談が多いのも特徴である。家族や障害福祉サービス事業所からの相談は少ない。相談内容の４４%はサービス調整・計画相談支援の依頼である。サービスの利用に関わらない生活支援等は合計すると３０%ほどあり、居住支援も１３%と一定のニーズを感じる。

（５）新型コロナウイルス感染症対策

感染拡大状況に合わせて、支援や会議の延期や、電話やメール、Zoomオンラインへの一部切り替えで相談支援の業務を行った。サロンでは、職員・利用者へ手洗い（アルコール消毒）、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示、体調確認・体温測定への協力依頼、共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気、テーブル上のアクリル板設置、可能な限り距離を置いた交流について促す等の対応を継続した。利用者名簿記入も職員が行うよ

うに変更し、利用者が10名を超えた場合などの入場制限や利用時間制限（長時間利用されている方）の協力依頼文を掲示している。法人職員が濃厚接触者となったことで、京都市との協議の結果、1/6～1/8の3日間を臨時閉所としている。

また、3名の職員が法人内の特別研修に参加し、厚生労働省の研修動画を閲覧して新型コロナウイルス感染症対策の理解を深め、相談支援事業とサロンそれぞれのBCP（業務継続計画）を作成した。BCP作成に伴う各ケースの関係者連絡先一覧表の作成・共有ができず、担当職員しか対応できないことや、BCP作成過程に職員が参加していないことが課題との意見が出ている。

利用者の感染等への対応は最新情報を確認しながら、組織的に対応できている、状況も記録化している。職員や職員家族の感染等へ対応することも多かったが、チャットツールを活用して迅速に対応について協議し、非対面形での相談支援業務への切り替え、クラウドサービスの活用で職員の在宅ワークが一部成立した。

（6）実習生受け入れ

8月から9月にかけて花園大学より精神保健福祉実習の学生1名を受け入れた。1月から佛教大学より学生1名の実習受け入れを予定したが、半日の事業説明のみにて実習を辞退されている。

2. 達成状況

（1）京都市障害者地域生活支援センター運営事業（委託）、計画相談（指定特定相談支援事業）

① 相談員の孤立、知識、技量の差をなくし、質の高い相談支援の実施 【一部達成】

② 新規相談依頼への対応 【一部達成】

相談者への初回面談は必ず複数職員で行うようにし、個人の視点を補い、助け合える環境がつくられるように配慮した。職員の研修参加状況は、外部研修において職員毎の参加件数に偏りがあるものの、平均して年間4.5回参加していることになる。法人内の全体研修や附属別研修の参加率が高い。また、職員間での勉強会も継続し、『令和3年度の報酬改定内容』『集団指導』『メンタルヘルス』『広報』『身体は何でできていますか？』『ウィルフレッド・R・ピオンの二つの戦争体験と、ローザ・ルクセンブルクの死』をテーマに各職員が報告し、意見交換を行っている。一方で、業務量過多等の影響による記録入力の課題は継続し、職員ミーティングで意見交換はしてきたが、ほぼ改善なく経過している。職員ミーティングへの欠席や実績報告にも滞りが生じているため、組織的な相談支援としては不十分な面もある。

相談者数の増加と10月に中堅職員が退職して他職員にケースの引継ぎがあったことで、各職員の業務量は増大している。状況改善のため、令和3年10月～12月までの間、一定期間間隔があり安定してきた継続ケースの見直し（他事業所への引継ぎやモニタリング期間の変更）を進めた。その間新規の計画相談支援依頼についてはストップして、委託相談としての相談支援提供が、他の相談支援事業所の調整を行う方針で対応したが、以前から打診のあったケースや緊急性の高いケースは相談支援を実施した。令和3年度の計画相談支援の新規契約数は13件、終結は16件（うち、他の相談支援事業所への引継ぎは6件、介護保険への移行3件）であった。

継続ケースに対して複数担当で実施していくことは業務負担が大きく、難しい。そのため、担当職員が問題を抱え込むことにつながっている。職員を支える仕組みである職員ミーティングの欠席率が高くなると、状況悪化に拍車がかかると感じる。

各職員が支援に困難さを感じている事柄は『利用者からの暴言』『利用者や支援者

との共通目標設定ができない』『利用者と事業所との関係が強く介入しにくい』『利用者や家族からの支援拒否』等であることが、各職員作成の事例から推測される。

超過勤務の問題については、法人内の残業座談会へ全職員が参加し、他事業所の残業現状や改善に向けての工夫について意見交換を行っている。

③ 個人情報管理状況の改善 【達成】

郵送の際の複数職員による送付先確認ができず、送付先記載ミスによる事故が発生している。再発防止のため、事故以後は複数職員における送付先確認を行うようになっている。

④ 中部自立支援協議会、地域ネットワーク等参画 【一部達成】

各職員分担した通り参加しているが、各会議の詳しい状況を共有することはできていない。中部自立支援協議会（事務局会議、運営会議、各専門部会等）、各種ネットワーク会議は、Zoom オンライン開催や、感染対策をとった上での対面形式での集まりが継続されている。ネットワーク会議によっては、実施主体の活動に対する消極性を感じている。新たな地域での障害者支援への参加の場として、介護支援専門員の上任ケアマネの事例検討会に施設長が出席している。

⑤ 障害支援区分認定調査の計画的実施 【達成】

4名の調査委託に対して、調査担当職員、調査実施時期を確認し、サービス利用継続を希望した3名に対して調査を実施し、京都市へ報告している。

(2) 京都市精神障害者地域移行促進事業（委託）

① 京都市精神障害者地域移行促進事業実務者会議の実施 【達成】

Zoomを活用しながら年11回実施した。15機関31名（延164名）の参加があった。障害福祉サービスにおける地域移行支援事業の新規利用者と退院支援の必要性が高い方への支援内容や、病院や地域への研修等の普及啓発活動について検討した。

実務者会議で把握できたこととして、病院から対象者に関する相談がしにくい状況や、病院訪問が難しくなり止む無く中断となるケースがある等、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたと感じる。個別ケースの支援に関する課題としては『支援や契約における拒否的な反応』『希望の退院先と現実的に地域生活継続ができる環境との折り合いがつかない』『車いすでの生活をしたことがない』『病識や服薬意識の課題』『病院を離れることへの不安』『退院について家族の強い不安』『住居探しの難しさ』『退院後の生活の組み立て』等の事柄が挙げられている。地域への普及啓発では、指定一般相談支援事業所向けの手引書作成について検討し、令和4年度作成を目標に準備を行った。病院への普及啓発では、実務者会議にていわくら病院や洛南病院、川崎市での取り組みを共有している。また、川越病院での職員向け研修会を開催しており、実務者会議の参加者である他支援センター職員からの事業実施状況報告と、ピアサポーターからの体験談発表を行った。

② ピアサポーターによる活動と育成・養成 【達成】

講演等の普及啓発活動を26回実施した。ピアサポーターは8名（延58名）で、対象者は1,326名であった。令和2年度同様に講演依頼は減少したが、令和3年度はZoomでのオンライン参加があったことや、大学での講演活動が多かったことが特徴。また、6、9、1月にWEBサイトにぴあHappiness通信を掲載し、広報に努めた。

ピアサポーターの勉強会は4回実施した。7名が参加（延26名）し、活動状況共有や、その他ピア活動にかかわる取り組みの協議等を行った。さらに外部研修として、京都府ピアサポーター基礎研修への参加を行った。

③ 地域移行促進事業の普及啓発及び推進の取り組み 【達成】

病院や地域の事業者等を対象に、制度等の事業説明を34回実施した。対象者は1,166名となった。いわくら病院で定期開催していた地域移行会議が再開されたため、令和2年度よりも増加している。また、12月に精神科病院や地域の相談支援事業所等に向けての研修会を開催し、桃山学院大学の榮先生によるピアサポートに関する内容の講演と、ピアサポーターによる実践報告を行った。

(3) 地域相談（指定・一般相談支援事業） 【未達成】

地域移行支援事業の契約者2名に対して支援を行ったが、利用者の病状悪化や退院意欲や環境調整等に時間がかかったこと、新型コロナウイルス感染拡大の影響で病院訪問が難しく必要な支援が十分でなかったこと等の理由により、退院に至った方は0名であった。

(4) こころのふれあい交流サロン（委託）

① 基礎事業

（安心して過ごせる場の維持・必要時に利用者へ介入） 【一部達成】

利用者間での囲碁や将棋が活発に行われ、対戦相手を望む声が増えたため、11月にボランティアセンターで募集を行った。3名の応募者があり、ボランティアを継続してもらっている。

7月に利用者からの暴力行為があつてサロン備品が壊されたことでは、当該利用者へ一定期間利用を控えてもらうよう依頼し、利用の決まりを再確認した上での利用再開を見守っている。利用者間で金銭の貸し借りに対して、利用者の関係機関とともにサロンの職員が返済に立ち会い、当該利用者に対して利用の決まりを再確認した。意見箱への苦情の投書2件に対して、掲示と個別面接にて対応し、利用者の理解を得ている。

（他サロンの情報収集・在り方検討） 【達成】

7月のサロン懇談会にて、京都市から「こころのふれあい交流サロン委託費の減額は避けられず、事業のあり方を再検討する必要がある。」「居場所機能のみでは評価しにくいので、ひきこもり支援のアウトリーチ事業と組み合わせでサロンの存続を考えたい。」との話があつたことをきっかけに、市内こころのふれあい交流サロン従事者で何度が集まりをもち、事業の必要性や市への要望に関して話し合いを行った。2月のサロン懇談会で京都市から新事業案が示されたが、サロン事業の受託要件がこの時期初めて示され、特に開所日数について『週4日以上（土日祝日、年末年始含む）、1日6時間以上の開所』という内容であつたため、当サロン含めこれに該当しないサロンが複数箇所生じ、懇談会後も混乱があつた。京都市からの懇談会時の返答は「一律この条件で考えている」というものだったが、懇談会後確認した際の返答は「柔軟に考える」というもので、3月に最終確認のあつた新事業案の受託要件開所日数は『月96時間以上。ただし、ゴールデンウィーク（4/29、5/3～5/5）及び年末年始（12/29～1/3）については、1日あたり3時間を減じた時間数とする』と柔軟に設定された結果となった。

また、12月には機能強化事業に関する家族会への委託費も京都市よりこれまでの3分の2に減額する決定がなされ、家族会との協議の結果、令和1年度のサポートスタッフの派遣総時間をこれまでの3分の2以下に設定することになった。

（グラスや茶話会の活動再開検討） 【一部達成】

新型コロナウイルス感染拡大状況があり、検討機会を持っていない。レクリエーションに対する利用者ニーズは大きかったため、飲食を伴わない内容にする等の感染症

対策を行った上で、利用者や職員の特技（楽器演奏、クイズ、落語、ダンス等）を活かしたハロウィーンイベントやクリスマス会、新年会行事等を行った。

② 機能強化事業

（派遣先サロンの状況やニーズの把握） 【一部達成】

新型コロナウイルス感染症の影響で派遣先サロンが臨時閉所となることがあり、また、感染不安等の影響から派遣先サロンの利用者数に減少が感じられたが、相談者実数や派遣相談延べ件数は増加している。これは、相談者のうちなごやかサロンの利用者である方の割合が増えており、さらにその方が派遣先サロンを複数利用し、派遣相談を利用されている状況から生じている。

派遣相談の利用者は、すでに計画相談等の相談支援を受けている方がほとんどであるものの、一定の相談ニーズが続いている。計画相談等の支援を受けていても毎月モニタリングではない方や電話等で日常的に相談支援機関へ相談できていない方等が、比較的気軽に相談できる機会として派遣相談を利用されていると推測される。

サロン事業の見直しに関連して、京都市より基礎事業・機能強化事業も含めたサロン運営に関するヒアリングがあり、収支表、職員の勤務・兼務状況、1Hの業務例、利用者状況等について資料提出の求めがあったため、提出している。

3. 中長期に向けた重点的取り組み

（1）事業運営 【達成】

運営・相談支援ミーティング、グループワークを継続しており、新規の相談依頼への対応検討をはじめ、各職員の業務共有や事業における協議を行っている。また、初回面談の複数職員での対応や一部のケースで複数担当制をとり、担当職員以外がケースに対応しやすい仕組みと、担当者の抱え込みによるバーンアウトを防ぐための取り組みを継続した。一方業務量増大の影響で、支援センター実績が低水準であることや、職員の欠席等によるミーティング機能低下の課題があることを職員間で共有している。

（2）職員の育成と定着 【一部達成】

法人内研修（全体研修、階層別研修）への積極的な参加を呼びかけており、研修の参加状況は良い。階層別研修への参加人数の内訳は、管理職員研修3名、中堅職員研修3名、新任職員研修2名である。また、新任職員研修の講師として、管理職員2名、専任職員1名、中堅職員2名がテーマに沿って役割を担った。外部研修の受講も平均して職員1名につき4.5件の参加が行えているが、研修報告書の提出（サイボウズにおける入力）が滞っていることと、職員の研修参加件数に偏りがあることが課題である。育成面談は下表の通り、実施時期の遅れは日立ったが、面談と目標達成シートの作成は漏れなく実施できている。管理職員の業務的な余裕がなく、育成面談を踏まえたOJTや研修受講の促しは十分できなかった。

氏名	雇用形態	階層	役職	勤続年数 2021.4時点	シート 作成	面談実施日 (10月)	面談実施日 (3月)
藤井弘	常勤		専任職	25年0ヶ月	作成	11/29	4/22
中條了	常勤	管理	統括施設長 施設長	14年0ヶ月	作成	12/21	4/1
山本洋	常勤	管理	副施設長	16年6ヶ月	作成	11/26	4/12
高瀬加帆	常勤	中堅		7年0ヶ月	作成	未実施※10月末退職	

城（岡本） 紗弥香	常勤	十堅		6年1ヶ月	作成	10/27	3/15
田中悠一	常勤	十堅	指図職（主任）	6年0ヶ月	作成	10/26	3/13
中村美恵	非常勤	新任		3年8ヶ月	作成	10/29	3/4
森口康子	非常勤	新任		3年0ヶ月	作成	10/30	3/13

（3）地域交流・地域貢献 【未達成】

京都大学の大学生サポートセンターから依頼があり、障害のある学生向けに支援センターの情報提供を行った。花園大学からの依頼があり、学生6名、教員1名への事業説明・施設見学対応を行った。また、中京ネットワークでは、役所でのパネル展示を企画した。地域社会における精神障害者の理解促進のため、積極的に活動を検討した状況とは言えない。

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和3年4月～令和4年3月分

相談事業名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやが」

①相談者(実利用人員)

新規	106	人
継続	180	人
合計	286	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人、家族、保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WG	HC	相談・支援機関	福祉サービス事業所・施設					医療機関(診療科を含む)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	延所	短期入所	GH	CH					入居	
身体	3	27	48	5	24	1	18	54	30	0	0	0	43	0	0	8	261	
知的	35	10	202	29	16	3	11	10	8	0	0	0	5	1	5	33	372	
精神	71	535	931	75	460	3	181	247	183	2	19	6	568	9	35	304	3820	
重複	67	367	484	106	330	2	96	714	182	8	29	26	347	17	7	144	3106	
障害児	4	25	46	22	29	0	17	13	17	4	0	0	31	10	0	8	226	
その他	16	78	147	8	83	0	72	36	82	0	2	15	176	24	3	80	852	
合計	216	1032	1858	245	942	8	395	1374	502	14	50	46	1370	52	50	582	8636	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育・保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(診療科等)	食費管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	2	53	3	34	0	0	0	0	3	1	0	0	61	0	474	268
知的	0	38	19	21	3	0	2	44	0	14	21	1	25	13	238	437
精神	38	601	250	384	102	0	10	131	19	178	37	32	974	245	1399	4700
重複	26	873	96	454	12	2	42	22	5	83	6	7	807	156	1090	3691
障害児	3	35	10	31	0	0	41	0	9	0	0	0	49	1	113	294
その他	14	73	27	127	25	17	8	52	0	61	0	0	197	61	339	936
合計	83	1676	405	1051	142	19	103	249	36	337	64	40	2043	486	3290	10926

④ケース会議等

	ケース会議 参加件数	ケアマネ 作成件数	ケアマネ 代行件数
身体	0	5	1
知的	3	9	0
精神	44	22	3
重複	23	27	3
障害児	3	3	0
その他	42	3	0
合計	115	60	8

⑤相談支援内訳のうち

居宅サービス事業	
入居支援	94 件
居住支援	309 件
緊急対応	14 件
合計	412 件

⑥会議・研修等

地域での障害者(児)支援 への参加	研修事業		
	センター主催(企画)研修	講師派遣	派遣研修・他都府視察

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年4月分

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース 一覧

MT検討日	年齢	性別	障害種別	居住区	依頼元	依頼内容	検討結果
4月5日	45	男性	身体	二京	京親協	妻の死について悩んでいる。	支援者の困っている状況を把握し、会議出席を検討（中村）
4月5日	47	男性	精神・発達	中京	本人	将来についての不安	ジョブパークでの面談（飯、高瀬）
4月5日	86	女性	身体・精神	中京	高齢者サポート本能	会議出席、障害福祉サービスの調整	会議に参加（森井、中藤、山本）
4月5日	61	女性	精神	中京	中京障害支援センター	ヘルパー事業所探し、計画	事業所探しに協力（中藤）
4月5日	53	女性	精神	下京	下京障害支援センター	生活の組み立て、家探し	ショート利用中の本人との面談を促す（中藤）（夏瀬、初田、中藤同席）
4月5日	29	男性	精神	中京	本人	経済的基盤	すでに未所面談を実施済。再度、相談希望の連絡があれば対応（中藤）
4月13日	50	男性	精神・発達	東	本人	計画相談依頼	他相談支援事業所調整、当センターでの計画相談を検討（渡）
4月27日	65	男性	精神	中京	賃貸マンション管理会社	近隣マンションへの迷惑行為	管理会社に詳しい状況を確認した上で区役所へ連絡（田中）
4月27日	30	男性	精神	下京	長町病院	退院後の計画相談	計画相談を担う（田中）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

当センターの相談圏域外に居住の障害のある方より、1日3～10回の電話相談が続いている。1回の電話は数分であり、内容は「さみしいので話を聞いてほしい」「○○さんに代わってください（案件の相談員を求めると）」「○○に行ってきました（近況報告）」等。相談とサロンと一体的に運営してきた時からの利用者。相談とサロンが別事業化した126年度から、本人の訴えは受け止めながらも、障害者地域生活支援センターの相談領域について説明し理解を求めた。この2年ほどはお話をお聞きせず、「科医の支援センターに相談して下さい」と伝言、電話を終える対応をしていたが、状況は変わらず。長時間ではないが電話回線がふさがり、他の電話にとれないことや他の業務が中断される等の支障が出ている。こちらの説明に理解を示さず、一方的に同じ内容の連絡を繰り返すことに暴力性を感じ、心理的な負担が重くなっている職員もでている。職員MT内で意見交換を重ね、特定の番号に対して登録した音声案内が転送設定ができないか等も検討したが、いずれも転送設定と大変なため、本人に説明する機会をもち、転送設定を行った。転送設定について事情を知らない方からの理解を得られないのではないか？転送設定の期限を設けるべきではないか？との意見もあり、継続検討している。

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和3年5月分

相談事業名名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやが」

①相談者(実利用人員)

新規	6人
継続	100人
合計	106人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人、家族、保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WG	HC	相談・支援機関	福祉サービス事業・施設					医療機関(診療科等)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH・CH	入所						
身体	0	1	9	0	4	0	3	11	4	0	0	0	11	0	0	1	44	
知的	7	0	10	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	23	
精神	8	41	95	5	41	0	36	52	17	0	2	0	31	0	5	25	359	
重複	0	29	40	8	27	0	14	38	10	0	1	0	30	0	1	13	226	
障害児	0	1	5	2	6	0	1	2	1	0	0	0	2	2	0	1	29	
その他	2	3	10	0	6	1	2	6	10	0	0	0	5	0	1	2	42	
合計	17	78	170	15	86	1	60	134	47	0	3	6	84	2	7	44	723	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育・保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(診療科等)	食費管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	22	38
知的	0	2	0	3	0	0	0	6	0	0	3	0	0	1	20	29
精神	2	68	26	29	2	0	3	10	7	19	11	7	102	16	138	440
重複	2	56	10	32	2	0	0	1	3	7	0	2	57	12	90	274
障害児	4	10	1	5	0	0	13	0	2	0	0	0	11	0	16	62
その他	3	1	0	16	1	0	0	4	0	0	0	0	3	1	9	51
合計	11	142	37	91	5	0	16	15	12	26	14	9	181	30	305	894

④ケース会議等

	ケース会議 参加件数	ケアマネ 作成件数	ケアマネ 作成件数
身体	0	1	0
知的	0	0	0
精神	3	3	0
重複	5	4	0
障害児	0	0	0
その他	5	0	0
合計	13	8	0

⑤相談支援内訳のうち

居宅サービス事業	
入居支援	7件
住居支援	45件
緊急対応	3件
合計	55件

⑥会議・研修等

地域での障害者(児)支援 への参加	研修事業		
	センター主催(企画)研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察
令和3年度障害支援区分認定調査員研修 令和3年度京都市のネットワーク第2回実務者会議	新入職員研修(6人)	令和3年度若年性認知症支援基礎研修	はじめての広域活動第1回(京了)の会

京都市障害者地域生活支援センター 相談支援実績報告書

令和3年6月分

相談事業名:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやが」

①相談者(実利用人員)

新規	9人
継続	100人
合計	109人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者(本人、家族、保護者等)				利用者以外													合計
	来所	訪問	電話	その他	WG	HC	相談・支援機関	福祉サービス中継・施設					医療機関(診療科目等)	教育機関	就労関係機関	その他		
								居宅介護等	通所	短期入所	GH	CL					入居	
身体	0	5	7	1	3	1	0	10	3	0	0	0	2	0	0	1	33	
知的	4	4	21	0	4	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	5	42	
精神	6	49	102	8	41	1	29	46	23	0	0	0	37	0	2	33	377	
重複	2	34	47	9	46	0	4	59	30	0	1	3	53	4	1	12	306	
障害児	0	2	3	2	2	0	1	2	1	1	0	0	3	0	0	0	16	
その他	5	7	8	1	6	0	2	6	8	0	0	0	18	2	1	0	58	
合計	17	101	187	21	162	3	37	119	65	1	1	3	113	6	4	51	831	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育・保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療(診療科目等)	食費管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	0	40	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	49
知的	0	2	1	2	0	0	0	1	0	0	6	1	4	2	32	51
精神	9	69	14	39	3	0	3	15	2	37	1	5	94	27	151	366
重複	7	91	16	47	3	2	7	2	4	4	2	4	84	22	105	398
障害児	0	3	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	4	0	7	18
その他	0	4	4	14	3	0	0	5	0	0	0	0	7	3	24	53
合計	16	178	26	106	9	2	11	23	4	41	9	7	193	54	333	1010

④ケース会議等

	ケース会議 参加件数	ケアマネ 作成件数	ケアマネ 作成件数
身体	0	0	1
知的	0	0	0
精神	3	1	2
重複	0	0	0
障害児	0	0	0
その他	3	1	0
合計	6	2	3

⑤相談支援内訳のうち

居宅サービス事業	
入居支援	15件
居住支援	26件
緊急対応	2件
合計	43件

⑥会議・研修等

地域での障害者(児)支援への参加	研修事業		
	センター主催(企画)研修	講師派遣	派遣研修・他部市視察
＜中部障害者地域自立支援協議会事務局会議＞＜ヘルプ・サービス・セッション・イベント＞ ＜福祉所連携＞＜電力工房＞＜障害者芸術＞ ＜研修＞＜地域課題研究会担当者会議(2021年度第2回)＞＜相談支援専門員カンファレンス(2021年度第2回)＞	＜法人内新任職員研修(3人)＞＜法人内 新任職員研修(5人)＞		＜障害者ピアサポート研修の支 援に資する委員会＞※ZOOM

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年7月分

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

7月6日	20代	男	発達	中京	京都府立医大特本科	生活上の悩み事、就労に向けた相談	かがやきでの相談について関係者へ確認していく（中條）
7月20日	40代	男	発達	下京	本人	転居、就労	本人との面談、関係者との連絡調整等で必要な支援を整理する（山本）
7月27日	30代	男	知的	中京 （専愛 会入院 中）	専愛会病院付属35号	入院中の行動多動の利用に向けた計画 相談依頼	コーディネーター専業として、他の相談支援事業所の調整を行う（田中）
7月27日	50代	女	発達	中京	本人	転居の決め方	京都府家庭総合支援センター等専門機関の役割について情報収集し、本人へ情報 提供する。障害があることについての相談支援が必要であれば、当センターでの 役割を検討する（中條）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年8月分

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

3月3日	60代	男	精神・身体	中京	西ノ京包括	通院同行のヘルパー事業所調整	西ノ京包括に中京保健福祉センター障害保健福祉課とのやりとり等の状況を確認し、一言的な関わりを検討する（藤井）
3月3日	10代	男	発達	中京	児童福祉センター	相談支援、移動支援等の調整	児童福祉センターと面談し、本人へ関わっている機関とその役割分担について確認、当センターの関わりを検討する（中條、森）
3月10日	50代	女	精神	中京	本人	父の拒絶のことや、自身の家事全般が滞っていることで困っている	本人の了解をとり、現在支援関係のあるかまち訪問看護ステーションへ状況確認し、サービス利用や計画相談支援について確認する（高瀬）
3月17日	10代	女	精神	中京	田中医院	母のレスパイトや専門知識のある相談先	児童相談所と一緒に母子の相談支援が実施しているかどうかを確認し、児童相談所含めた母との面談機会が与えられるか相談する（高瀬、山本）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年9月分

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

9月7日	20代 女	身体・精神	中京	リタリコフォーカス四条大宮	福祉サービス、生活などの説明→3事業所の調整依頼	複数職員で制度説明を行い、継続相談となった場合には再度ミーティングで担当者等を検討する（高橋）→来月面談で、3事業所の情報提供と見学実施に関する調整の役割を再確認（藤井、城）
9月7日	60代 男	精神	中京	家族・病院・中京保健福祉センター障害保健福祉課	退院後の生活支援の組み立て	12月で介護保険サービスの対象者となる方である。介護返済のための法テラスの情報提供、金銭管理支援のための日常生活自立支援事業や成年後見制度の8月開始を行っていく予定（中條）
9月7日	50代 男	身体・知的	中京	訪問介護事業所	障害福祉サービスに関する相談	介護保険のケアマネから障害保健福祉センターへ相談するように促している（中條）
9月7日	60代 男	精神	中京	洛南病院	退院後の通院のヘルパー事業所調整	入院中の本人と面談し、意向確認。中京保健福祉センター障害保健福祉課や洛南病院等関係者と相談しながら、退院先や通院先、通院介助の事業所調整等の役割を担う（日中）
9月14日	50代 女性	精神?	中京	市立病院精神科	今後の生活の相談	9/30（木）16:00～インテークを行う（山本）
9月14日	50代 女性	精神	中京	家族（表兄）	訪問看護の利用、今後の生活支援	家族が事業所に連絡して選べるように情報提供を行う予定（中條）
9月14日	50代 女性	精神・身体	中京	本人	利用中のヘルパー支援や生活について（計画相談）	本人へ計画相談支援は現在の体制上出来ないことを返答。どのような相談を求めているのか確認し、できる・できないを検討し、返答していく方針。検討する上で、現在の支援チーム（ヘルパー事業所、訪問看護）に状況確認することの同意が得られるか確認する（日中）
9月28日	30代 男性	知的	下京	本人	家族との同居生活からの自立生活	アセスメントのため、天所直接相談（藤井）
9月28日	50代 男性	精神	中京	中京保健福祉センター障害保健福祉課	虐待認定あり。本人から移動支援の利用希望があるため、事業所調整依頼	本人や家族との面接、事業所調整等予定（藤井）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年10月分

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

10月5日	30代	女	精神・発達	仁京	本人	その他困りごと 日中活動、会議面	本人との直接で詳細確認（城）
10月5日	50代	女	精神	仁京	本人	就労 就職について	終結（城）
10月12日	20代	女	精神	府	本人	居住 自身の生活	インテーク後、きょうのくらしがかりへ相談し、セルフプラン作成時点でヘルパー支援を調整する予定。（田中、中村）
10月12日	50代	女	精神	仁京	行政 中京保健福祉センター 区民保健福祉課	計画相談 退院後のサービス調整	虐待の疑点。本人や母の計画相談やサービス利用意向
10月12日	児童	男	知的	仁京	家族 母	その他困りごと 放課後等デイサービスについて	母、本人との初回面談実施し、相談内容を継続の意向を確認する。（田中、山本）
10月12日	30代	女	発達	仁京	相談 ひとり親家庭自立支援センター	その他困りごと 本人の障害特性や子どもとの生活における課題整理	本人との初回面談実施し、相談内容を継続の意向を確認する。（城、山本）
10月19日	40代	男	知的？	上京	相談 みなと家	その他困りごと ホームレスからマンションでの単身生活を制約しているが、医療や障害者手帳等の制度利用がなく、支援が必要	関係者とともに本人との面談（訪問）や会議での情報共有（支援の必要性）等を行っていく。（藤井、田中）
10月26日	児童	女	精神	上京	相談 京都市地域定着支援センターふいっく	計画相談 本人より車での外出に不安があり（方向音痴との話あり）、ヘルパー同行の希望。また、日常的に相談できる場としての希望	計画相談支援を往う方向で検討する。まずは中継が地域定着へ促し、当センターと地域定着との話し合いの機会をつくり、詳しい状況を確認する機会をつくる。（中村、山本）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年11月分

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

11月23	児童	男	滝神	中京	相談 中京保健福祉センター子どもはぐくみ室	計画相談 放課後等デイサービスと移動支援のサービス利用。	委託が計画で、「本人が家族が」を検討するため、下司氏と相談する機会をつくる。(城、山本)
11月23	30代	男	滝神	南	家族 両親	サービス調整 いわくら病児医療係 譲入後3箇月→茨ヶ岡病院へ転院、退院後の言白について、両親はグループホームを希望。	グループホーム深しの希望。グループホームに関する情報提供をしている。今後、継続して相談があれば対応していく。(藤井)
11月16日	50代	女	滝神	中京	行政 中京保健福祉センター生活福祉課保護係	サービス調整 B型事業所調査	面談3の調整をしてインタビューを行う。12月にB型事業所の情報提供として面談、1月に見学。セルフプラン補助として関わっていく(中村対応)
11月28日	50代	男	高次郎	中京	医療 大塚記念病院	居住 リハセン退所後の住居探し	セルフプラン作成補助が他の相談支援事業所探しを行う方針。基本情報をとめるため、藤井より大塚記念病院、リハセンへ聞き取りを行う。(藤井)
11月29日	20代	女	滝神	中京? 下京?	医療 栗尾タノニク	生活支援 シェルター退所後の当身生活への支援。	月1回以上の要わりは難しいことの理解を得て、訪問看護への同席等で、本人の生活状況、生活ニーズ、必要性の把握に努めていく方針とする。医療機関へ連絡し、本人との初回面談を設定する(中條)

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和3年12月分

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

12月7日	児雷	男	未確認	下京	行政 発達相談子	計画相談 母子家庭、本人の行動障害があり、放デイ以外のサービスの利用を検討したいとしてカンファレンスへの出席依頼。	カンファレンスに出席し、必要なサービス内容（行動支援や短期入所を想定）や、計画相談として事業所と家庭との仲介が必要であるかどうか、継続的な家庭訪問が必要であるかどうか等を確認。緊急仕や必要がそこまで急くなければ、一旦セルフプラン作成相対として変わる。職員体制が整い次第、計画相談支援について検討する（藤井）
12月7日	20代	男	知的	下京	事業所 二重リーフ	セルフプラン作成補助 以前高須職員が関わっていた内容（定期的な会議開催、ヘルパーの利用調整）について、再度依頼。	以前高須職員が行っていた相談支援の役割を念頭を置きながら、二重リーフと本人、家族の意見をそれぞれ確認し、当センターの相談支援の必要性を検討する。（田中）
12月21日	40代	女	高知	下京	行政 下京区社会福祉課	計画相談 ヘルパー支援再開のための条件、中長期的に離婚や生活支援日付、転居等調整。	1月に計画相談支援開始。初回訪問は本が可席。（中村）
12月21日	20代	女	高知	下京	家族 弟	サービス調整 計画 家族がG4入居を定めた意向。東山区ひきこもりの会の上坂さんからなごやかを紹介された。	家族にしんらのサポート内容を確認してもらった後、計画学同行等の実施を検討する。また、本人ニーズを確認する機会をつくる。（坂、中保）
12月21日	30代	男	高知	滋賀県	医療 みずえカウンセリングオフィス	居住 京都市への転居希望。収入なく、生活保護もなし。	E区区域居住が確定していないので、関わりを確計できない。現住所での相談支援機関や現在関わっている支援機関の役割を再度確認する。必要に応じて、京都府の居住支援法人についての情報提供を行う。（川後）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和4年1月分

京都市「一部障害者地域生活支援センター」なごやか

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

1月17日	40代	男	精神	中京	本人	生活支援 R3.9にリモート業務に馴染めず退職。国保料支払い等で困っている状況があるらしく、就業生活支援センターから当センターを紹介された。	来所面談を決定する。就労に関してはあふるコーナー、おし就業生活支援センターへの相談を促し、失業保険受給や国保料支払いについてはハローワークや保険年金課での相談を促す。また、生活支援の必要性も確認する。(中村、山本)
1月13日	50代	男	精神	下京	医療 京都市立病院	アービス調整・計画 退院後の家事・買い物同行等の支援調整。	1/13に退院前カンファレンス。ケア保険センター障害保健福祉課の認定調査に出席。市立病院から依頼のあった多型全当やヘルパー等の調整を担っている。セルフプラン作成補助、他の相談支援事業所探しを委託相談として担うことになった。(止本)
1月13日	児童	男	発達	下京	相談 発達相談所	アービス調整・計画 夜デイ、行動支援等の支援調整。	カンファレンスに出席して見た情報を整理し、本人、家族、関係機関との連絡調整を行っていく。(田中)
1月25日	20代	男	発達	下京	相談 区社協	生活支援 障害者手帳の取得や就労に向けた動きあり。あんしん支援員からの相談支援引き依頼。	あんしん支援員のかかわりがあり、医療機関からケアの利用を勧めようとしていること等、当面の動きも定まっている。(日中)

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和4年2月分

京都市「一部障害者地域生活支援センター」なごやか

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

2月1日	50代	女	重複	中京	医療 川辺病院	サービス調整・計画 移動支援利用 援助（ひきこもり、母子関係、認知 症の疑い）	初回は訪問看護の支援に可なり。移動支援の利用援助の役まで関わっていく。 （婦、中対）
2月8日	20代	女	精神	中京	行政 中京保健福祉セン ター生活福祉課保護係	その他区里ごと 地域での相談窓口 として	保護系に対して、本人に支援センターなごやかの情報提供をしてもらう。本人か らなごやかへ相談電話があれば、本人からの相談として再度検討する。（中対）
2月8日	40代	女	精神	下京	本人	その他区里ごと 今の自分がどのよ うな状態で、これからどうしていっ たらよいか？	2/6初回面談を実施している。今後も本人から相談があれば山本が窓口とな る。来月直接時には女性職員同席の上で行う。（山本）
2月18日	50代	男	身体	中京	家族 母	居住 バリアフリー賃貸住宅での一 人暮らし	姉へケアマネに連絡することの同意を得て、ケアマネに当センターの役割（バリア フリー賃貸住宅等の情報提供等）を確認した上で、本人、姉へ情報提供する。 ケアマネには単身生活後に必要な支援も確認し、制度的な発言。当センター の役割もしておく。（中本）
2月18日	30代	女	精神	下京	相談 若者サポートス テーション	医療 2か所目のデイケアとして、 居住地近くのデイケアに関する情報 提供等	主治に対しては、行政に確認した「2か所のデイケアの登録不可」という情報提 供を当センターから若者サポートステーションへ行い、本人に伝えてもらってい る。そのため、初回面談時には本人、関係者の主治やニーズの確認が必要。 （コ紫、中）
2月18日	児童	男	知的	中京	相談 児童福祉センター	サービス調整・計画 障害児相談 移動支援調整	当センターの計画相談支援として余裕がない状況を説明した上で、地域の支援セ ンターや他の相談支援事業所への相談について返答する。他の相談支援事業所長 を当センターも手配。他の相談支援機関が見つからなかった場合、当セン ターでの関わりを再度検討する。（中）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市障害者地域生活支援センター 相談概要報告書

令和4年3月分

京都市「内部障害者地域生活支援センター」なごやか

※職員会議やミーティングの摘録等でも可

《今月の相談傾向》

※新規相談検討ケース一覧

3月8日	40代	女	障害	中京	京京 京大病院	サービス調整・計画相談 現在入院中、家族とサービス調整。	先に本人と面談してニーズを確認した上で、関係者込みのカンファレンスを開催し、今後の進め方や関係者の役割分担等について確認する。セルフプランでの対応を含めて対応を検討する。計画相談の場合は中村職員が担当。初回面談の際は中村職員、城島員が対応する。
3月8日	50代	女	障害	中京	生活保護	その他困りごと	来月面談の対応。面談の頻度や相談の枠組み、初回面談の際は戸田職員、城島員が対応する。後継が必要な時は担当は城島員。
3月8日	30代	男	障害	北	行政 生活保護	サービス調整・計画 グループホーム返す後の自身生活を支えるサービス調整。	さくらに退所支援をどの様に代わっているか確認する（会議課題に対して杜波や後見等の日課等をさくらでお願い出来るか、等）。退所前にG1での初回面談をし、本人ニーズの把握、本人同意を取り関係機関（大阪市北区等）経過確認し、方針を決めていく。担当は田中主任、事業所探しのフォローを日本副施設長が行う。初回面談は可能な範囲で3月中に調整をする。
3月15日	60代	男	障害	兵庫県丹波市	長女	居住	京都のG1の情報提供と京都市にG1が複数あるが入れるかどうか分からない状況や空きがすぐあるわけではなく一つずつ当たっていくことになる状況を伝える。また病院や家族ご本人の意向などを踏まえて退院の方針が定まったことで京都市でのG1などの生活を考えるのであれば関係者とも相談しながらできる協力をしていく。（中村）
3月22日	60代	男	障害	中京	介護保険 ケアマネ	その他困りごと 障害者手帳や年金等手続き	役所への同行や書案件成等を直接担うのではなく、移動支援や言語代行必要の調整等を行うか、後見人が選任されてから役割を担ってもらうか、ケアマネへ相談する。（中村）
3月22日	50代	女	障害	下京	京京 市立病院	サービス調整・計画 転院・退院後の支援（医療、金銭面）	市立病院からの相談に応じる形で支援の必要性・関係者の分担を考えていく。下京保健福祉センター障害保健福祉課とも連携する。（城）

《相談支援事業の実施上の課題や今後に向けた提案》

《その他》

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 4月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 24 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
37	191	1	1	0	0	0	0	1	3	39	195

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

※合唱団グラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
 ※利用者、サポートスタッフ間で、将棋や囲碁などを通じた交流がある。
 ※意見箱に要望1通。「ポットの出しが悪い」
 ※家族とともに初利用された方1名。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 4月分)

1. 相談会等の実施

実施日	時間	内容	対象者	参加人数
4/4(日)	13:30～14:45	当事者会	当事者	2
4/24(土)	13:30～14:10	話し合い	当事者	4

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
4月2日	左京サロン	派遣相談	0
4月16日	左京サロン	派遣相談	1
4月9日	上京サロン	派遣相談	0
4月26日	上京サロン	派遣相談	1
4月1日	山科サロン	派遣相談	1
4月15日	山科サロン	派遣相談	1
4月8日	伏見サロン	派遣相談	1
4月22日	伏見サロン	派遣相談	0
4月6日	円町サロン	派遣相談	1
4月20日	円町サロン	派遣相談	2
4月13日	下京サロン	派遣相談	1
4月27日	下京サロン	派遣相談	2
4月2日	東山サロン	派遣相談	1
4月16日	東山サロン	派遣相談	0
計			12

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 5月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 24 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
10	245	0	0	0	0	0	0	1	5	11	250

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

- ・ 合唱団ガラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
- ・ 利用者、サポートスタッフ間で、将棋、オセロ、折り紙、トランプ、囲碁、チェスを通じた交流がある。
- ・ PC(インターネット)、新聞等の定期利用者がいる。
- ・ 他の場所でボランティア活動をされている方1名の利用あり。
- ・ 利用者の同行としてヘルパー1名の利用あり。
- ・ 利用者から「みんなの前で職員から嫌なことを言われた」との苦情あり。謝罪要求があったが、当該職員に心当たりなく、対応に苦慮した。双方の話し合いの結果、和解に至っている。
- ・ 頻回な来所相談を求めてこられる利用者1名あり。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10~利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 5月分)

1. 相談会等の実施

実施日	時間	内容	対象者	参加人数
5/2(日)	13:40～14:10	当事者会	当事者	2
5/22(土)	13:30～14:20	話し合い	当事者	6
5/29(土)	13:30～15:30	生活相談会	当事者	4

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
5月7日	左京サロン	派遣相談	1
5月21日	左京サロン	派遣相談	1
5月14日	上京サロン	派遣相談	0
5月24日	上京サロン	派遣相談	2
5月6日	山科サロン	派遣相談	2
5月20日	山科サロン	派遣相談	1
5月13日	伏見サロン	派遣相談	0
5月27日	伏見サロン	派遣相談	0
5月18日	円町サロン	派遣相談	2
5月11日	下京サロン	派遣相談	1
5月25日	下京サロン	派遣相談	1
5月7日	東山サロン	派遣相談	1
5月28日	東山サロン	派遣相談	0
計			12

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 6月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ～ 19:00) 土・日 (9:00 ～ 16:00)

2. 開所日数 24 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
14	251	2	2	0	0	0	0	2	9	18	262

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

- ・ 合唱団ガラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
- ・ 利用者、サポートスタッフ間で、将棋、オセロ、折り紙、トランプ、囲碁、チェスを通じた交流がある。
- ・ PC(インターネット)、新聞等の定期利用者がいる。
- ・ 他の場所でボランティア活動をされている方1名の継続利用あり。
- ・ 利用者の同行としてヘルパー2名の利用あり。
- ・ 頻回な来所相談を求めてこられる利用者2名あり。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10～利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 6月分)

1. 相談会等の実施

実施日	時間	内容	対象者	参加人数
6月6日	13:30～13:50	当事者会	当事者	3
6月19日	13:30～14:30	話し合い	当事者	8
6月26日	13:30～15:30	生活相談会	当事者	2

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
6月4日	左京サロン	派遣相談	1
6月19日	左京サロン	派遣相談	1
6月11日	上京サロン	派遣相談	1
6月29日	上京サロン	派遣相談	0
6月3日	山科サロン	派遣相談	2
6月17日	山科サロン	派遣相談	1
6月10日	伏見サロン	派遣相談	2
6月24日	伏見サロン	派遣相談	2
6月1日	円町サロン	派遣相談	1
6月15日	円町サロン	派遣相談	2
6月8日	下京サロン	派遣相談	1
6月22日	下京サロン	派遣相談	1
6月4日	東山サロン	派遣相談	3
6月18日	東山サロン	派遣相談	1
計			19

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 7月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 24 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
7	238	0	0	0	0	0	0	1	8	8	246

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

- ・ 合唱団ガラス、茶話会など、感染リスクのある活動は中止している。
- ・ 利用者、サポートスタッフ間で、将棋、オセロ、折り紙、トランプ、囲碁、チェスを通じた交流がある。
- ・ PC(インターネット)、新聞等の定期利用者がいる。
- ・ 他の場所でボランティア活動をされている方1名の継続利用あり。
- ・ 利用者の同行としてヘルパー1名、施設職員1名の継続利用あり。
- ・ 頻回な来所相談を求めてこられる利用者2名あり。
- ・ 50代男性の利用者：他利用者の声かけや振る舞いに激怒され、サロンの椅子を乱暴に扱ったり、アクリル板を拳で叩き割る等の暴力行為あり。職員との面談により、利用を控えてもらうことになるが、頻回な電話連絡や他利用者とのサロン以外でのやりとりは継続。突然来所され、面談を希望されたこともあり、帰宅促し、帰宅してもらったこともある。
- ・ 70代男性と30代男性の金銭貸し借りに関する仲介の依頼あり。関係機関である相談支援事業所の相談員や区社協の支援員からの依頼で、サロンの職員返済立ち会いを行っている。両利用者の金銭貸し借りのトラブル継続していることもあり、利用のきまりの内容を再度確認している。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10～利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 7月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
7/4(日)13:30～14:10	当事者会	当事者	4
7/24(土)13:30～14:30	話し合い	当事者	3
7/31(土)14:00～15:15	生活相談会	当事者	2

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
7月2日	左京サロン	派遣相談	1
7月16日	左京サロン	派遣相談	2
7月9日	上京サロン	派遣相談	4
7月30日	上京サロン	派遣相談	0
7月1日	山科サロン	派遣相談	1
7月15日	山科サロン	派遣相談	3
7月8日	伏見サロン	派遣相談	0
7月29日	伏見サロン	派遣相談	1
7月6日	円町サロン	派遣相談	1
7月20日	円町サロン	派遣相談	1
7月13日	下京サロン	派遣相談	1
7月27日	下京サロン	派遣相談	1
7月2日	東山サロン	派遣相談	2
7月16日	東山サロン	派遣相談	2
計			20

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 8月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
8/1(日)13:30～14:20	当事者会	当事者	5
8/28(土)13:30～14:20	話し合い	当事者	7
8/28(土)14:20～15:30	生活相談会	当事者	3

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
8月6日	左京サロン	派遣相談	1
8月13日	上京サロン	派遣相談	2
8月23日	上京サロン	派遣相談	1
8月5日	山科サロン	派遣相談	1
8月19日	山科サロン	派遣相談	0
8月12日	伏見サロン	派遣相談	0
8月26日	伏見サロン	派遣相談	0
8月3日	円町サロン	派遣相談	2
8月17日	円町サロン	派遣相談	2
8月10日	下京サロン	派遣相談	1
8月24日	下京サロン	派遣相談	1
8月6日	東山サロン	派遣相談	3
8月20日	東山サロン	派遣相談	2
計			16

3. その他

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
9/5(日)13:30～14:30	当事者会	当事者	5
9/18(土)13:30～14:30	話し合い	当事者	3
9/25(土)11:30～12:10、14:30～15:14	生活相談会	当事者	2

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
9月10日	上京サロン	派遣相談	0
9月27日	上京サロン	派遣相談	0
9月2日	山科サロン	派遣相談	1
9月16日	山科サロン	派遣相談	1
9月9日	伏見サロン	派遣相談	0
9月7日	円町サロン	派遣相談	1
9月24日	円町サロン	派遣相談	3
9月14日	下京サロン	派遣相談	1
9月28日	下京サロン	派遣相談	1
9月3日	東山サロン	派遣相談	2
9月17日	東山サロン	派遣相談	0
計			10

3. その他

- ・ 左京サロンが緊急事態宣言期間をうけて閉所されているため、派遣相談の中止継続。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 10月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 26 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
3	243	2	2	0	0	0	0	0	1	5	246

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

- ・10/1 女子和式トイレ入り口側に汚れ
- ・10/11 利用者1名からの苦情へ対応。苦情内容聞き取り、管理者からサポートスタッフへの指導を実施すると伝えたと納得される。
- ・10/23 利用者1名より「バックヤードで陰口を言うのはやめてほしい」との発言。怒って退所される。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示、体調確認・体温測定への協力依頼、共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10～利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

6. その他

	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日
電話相談件数	1	14	12	3		0	6	2	8	8
来所相談件数	1	1	3	1		0	1	1	0	0
	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水
電話相談件数	1		0	2	1	14		2		0
来所相談件数	1		0	0	0	0		0		0
	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土
電話相談件数	3	8	10	11	3		0	5	7	7
来所相談件数	0	1	1	2	2		0	1	2	0
	31 日	合計								
電話相談件数	18	146								
来所相談件数	1	19								

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 10月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
10/3(日)13:30～13:40	当事者会	当事者	3
10/23(土)13:30～14:30	話し合い	当事者	5

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
10月1日	左京サロン	派遣相談	3
10月15日	左京サロン	派遣相談	5
10月8日	上京サロン	派遣相談	2
10月25日	上京サロン	派遣相談	1
10月7日	山科サロン	派遣相談	3
10月22日	山科サロン	派遣相談	3
10月14日	伏見サロン	派遣相談	1
10月28日	伏見サロン	派遣相談	1
10月15日	円町サロン	派遣相談	2
10月19日	円町サロン	派遣相談	1
10月11日	下京サロン	派遣相談	1
10月26日	下京サロン	派遣相談	1
10月1日	東山サロン	派遣相談	0
10月15日	東山サロン	派遣相談	1
計			25

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 11月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 23 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
9	227	1	1	0	0	0	0	1	1	11	229

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

・開所以来初めての新規利用者(当事者4名、家族1名、その他1名)

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10~利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

6. その他

	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水
電話相談件数	0			2	2	13	10	2		0
来所相談件数	1			1	1	1	1	1		0
	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土
電話相談件数	3	0	1	11	0		0	4	5	8
来所相談件数	0	2	0	2	1		0	0	1	0
	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火
電話相談件数		7		4	2	3	10	13	5	
来所相談件数		1		0	1	0	0	2	0	
		合計								
電話相談件数		105								
来所相談件数		16								

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 11月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
11/7(日)13:34~13:40	当事者会	当事者	3
11/20(土)13:30~14:15	話し合い	当事者	5
11/27(土)12:00~12:30/14:00 ~14:30	生活相談会	当事者	2

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
11月5日	左京サロン	派遣相談	2
11月19日	左京サロン	派遣相談	2
11月12日	上京サロン	派遣相談	0
11月22日	上京サロン	派遣相談	1
11月4日	山科サロン	派遣相談	0
11月17日	山科サロン	派遣相談	1
11月11日	伏見サロン	派遣相談	0
11月25日	伏見サロン	派遣相談	0
11月2日	円町サロン	派遣相談	1
11月16日	円町サロン	派遣相談	1
11月9日	下京サロン	派遣相談	2
11月5日	東山サロン	派遣相談	0
11月19日	東山サロン	派遣相談	0
計			10

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 12月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 23 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
2	230	0	0	2	2	0	0	1	1	5	233

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

- ・開所以来初めての新規利用者(当事者2名、ボランティア2名、その他1名)
- ・ボランティアセンターへボランティア募集を行い、男性1名の応募あり。利用者との囲碁等を通じた交流を依頼。12/23～ボランティア開始。
- ・12/25(土)クリスマス会実施。利用者12名、ボランティア1名の参加。利用者、ボランティアによるダンスや腹話術等実施。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示、体調確認・体温測定への協力依頼、共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10～利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

6. その他

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
電話相談件数	2	1	3	7	13	3		0	4	4
来所相談件数	0	1	2	0	0	1		0	1	0
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
電話相談件数	6	12	3		0	1	6	13		8
来所相談件数	0	2	1		1	0	1	2		1
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
電話相談件数		0	6	7	9	10	5			
来所相談件数		0	0	0	2	0	1			
	31	合計								
	金									
電話相談件数		123								
来所相談件数		16								

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2021年 12月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
12/5(日)13:30～13:40	当事者会	当事者	4
12/18(土)13:30～14:10	話し合い	当事者	2

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
12月3日	左京サロン	派遣相談	3
12月17日	左京サロン	派遣相談	4
12月10日	上京サロン	派遣相談	0
12月27日	上京サロン	派遣相談	0
12月2日	山科サロン	派遣相談	1
12月16日	山科サロン	派遣相談	1
12月9日	伏見サロン	派遣相談	0
12月23日	伏見サロン	派遣相談	0
12月9日	円町サロン	派遣相談	0
12月20日	円町サロン	派遣相談	1
12月10日	下京サロン	派遣相談	0
12月23日	下京サロン	派遣相談	0
12月3日	東山サロン	派遣相談	0
12月10日	東山サロン	派遣相談	1
計			11

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2022年 1月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
1/9(日)13:30～14:00	当事者会	当事者	3
1/22(土)13:30～14:30	話し合い	当事者	6
1/29(土)13:30～15:00	生活相談会	当事者	3

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
1月21日	左京サロン	派遣相談	2
1月14日	上京サロン	派遣相談	2
1月24日	上京サロン	派遣相談	1
1月6日	山科サロン	派遣相談	1
1月20日	山科サロン	派遣相談	2
1月13日	伏見サロン	派遣相談	0
1月27日	伏見サロン	派遣相談	0
1月18日	円町サロン	派遣相談	2
1月11日	下京サロン	派遣相談	0
1月25日	下京サロン	派遣相談	1
1月28日	東山サロン	派遣相談	0
計			11

3. その他

- ・当法人職員が濃厚接触者となったことを受け、1/7(金)の左京サロンと東山サロン派遣を中止している。
- ・派遣先サロンの閉所日と重なったため、1/4(火)の円町サロン派遣が中止となっている。

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2022年 2月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 21 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
4	227	1	2	1	6	0	0	0	3	6	238

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

- ・開所以来初めての新規利用者 → 当事者4名、家族1名、ボランティア1名、その他0名
- ・ボランティアセンターへ囲碁や将棋等のボランティア募集中
- ・2/12(土)レクレーションとして、ボードゲーム大会を開催 → 当事者8名の参加
- ・将棋、オセロ、囲碁を通じた利用者、職員間交流。
- ・PC(インターネット)、新聞等の定期利用者。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示、体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10～利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

6. その他

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
電話相談件数		0	7	6	11	19	7		0	9
来所相談件数		0	2	1	1	3	1		1	0
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
電話相談件数		8	10	6		0	9		11	
来所相談件数		1	2	1		0	0		2	
	21	22	23	24	25	26	27	28		
	月	火	水	木	金	土	日	月		
電話相談件数	6		0	2	3	11	8	2		
来所相談件数	1		0	1	0	0	1	0		
		合計								
電話相談件数		135								
来所相談件数		18								

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2022年 2月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
2/13(日)11:00～11:10	当事者会	当事者	2
2/19(土)13:30～14:10	話し合い	当事者	5
2/26(土)13:30～14:00／14:30～15:30	生活相談会	当事者	2

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
2月4日	左京サロン	派遣相談	1
2月19日	左京サロン	派遣相談	1
2月28日	上京サロン	派遣相談	0
2月3日	山科サロン	派遣相談	1
2月17日	山科サロン	派遣相談	0
2月10日	伏見サロン	派遣相談	0
2月24日	伏見サロン	派遣相談	1
2月1日	円町サロン	派遣相談	1
2月15日	円町サロン	派遣相談	2
2月8日	下京サロン	派遣相談	1
2月23日	下京サロン	派遣相談	0
2月4日	東山サロン	派遣相談	3
2月18日	東山サロン	派遣相談	2
計			13

3. その他

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2022年 3月分)

1. 開設曜日及び開設時間 月・水・木・金 (16:00 ~ 19:00) 土・日 (9:00 ~ 16:00)

2. 開所日数 24 日

3. 利用者数

障害者		家族		ボランティア		地域住民		その他		合計	
利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)	利用者数 (新規)	利用者数 (延)
3	227	0	0	0	3	0	0	0	0	3	230

注1:新規利用者数は、今年度初めて利用した人について計上してください。前年度から継続して利用されている人についても年度が変わって初めて利用した月に新規として計上してください。

注2:延利用者数は、1ヶ月の延利用者数を計上してください。

4. 今月の主な取組内容及び利用者の状況

- ・開所以来初めての新規利用者 → 当事者2名、家族0名、ボランティア0名、その他0名
- ・ボランティアセンターへ囲碁や将棋等のボランティア募集中
- ・3/5(土)13:20-13:45 レクリエーション(大正琴の音を聴く会～春の小川、さくらさくら、ひなまつり～ → 当事者9名の参加
- ・40代女性(統合失調症・発達障害)の利用者から他利用者への声かけ多い。3/28(月)他利用者から「もう声をかけないでほしい」等の反応がみられた。スタッフへの暴言もあり。
- ・3/7(月)意見箱に1通の投書あり。
- ・将棋、オセロ、囲碁を通じた利用者、職員間交流。
- ・PC(インターネット)、新聞等の定期利用者。

5. その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、職員・利用者へ手洗い(アルコール消毒)、マスク等咳エチケットの促し・ポスター掲示。体調確認・体温測定への協力依頼。共有備品の消毒と、一定間隔での居室内換気を実施。テーブル上にはアクリル板を設置し、可能な限り距離を置いて、対面を避けた交流について促す。利用者名簿記入も職員が行うように変更している。5/10～利用者が10名を超えた場合などに、入場制限や利用時間制限(長時間利用されている方)の協力依頼文掲示。

※ パンフレットや予定表等参考になる資料の添付をお願いします。

6. その他

	1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木
電話相談件数		0	4	2	10	8	5		0	4
来所相談件数		0	0	1	1	0	1		0	0
	11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日
電話相談件数	3	4	8	5		0	5	2	11	
来所相談件数	0	0	1	0		0	0	0	2	
	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水
電話相談件数			5	6	5	9	7	4		2
来所相談件数			0	0	0	3	2	0		2
	31 木	合計								
電話相談件数	2									
来所相談件数	0									

京都市こころのふれあい交流サロン事業の実績を報告します。

(2022年 3月分)

1. 相談会等の実施

実施日時	内容	対象者	参加人数
3/6(日)13:30～14:00	当事者会	当事者	3
3/19(土)13:30～14:20	話し合い	当事者	6
3/26(土)13:30～15:00	生活相談会	当事者	2

※相談会や利用者へのコミュニケーション勉強会等でサロンが主体となって開催したものを報告してください。

2. 専門職員派遣

派遣日	派遣先	内容	相談件数
3月4日	左京サロン	派遣相談	0
3月19日	左京サロン	派遣相談	0
3月11日	上京サロン	派遣相談	1
3月29日	上京サロン	派遣相談	0
3月3日	山科サロン	派遣相談	0
3月17日	山科サロン	派遣相談	1
3月10日	伏見サロン	派遣相談	0
3月24日	伏見サロン	派遣相談	0
3月1日	円町サロン	派遣相談	2
3月15日	円町サロン	派遣相談	0
3月8日	下京サロン	派遣相談	1
3月22日	下京サロン	派遣相談	2
3月4日	東山サロン	派遣相談	1
3月18日	東山サロン	派遣相談	3
計			11

3. その他

1 地域移行に係る保健・医療・福祉関係者による協議

(1) 地域移行促進事業 実務者会議

実施回数	11回	
参加者数 (延)	164人	
実 務 者 担 当 者	いわくら病院	安河内、丁、岩城、白川、石井、秋山
	川越病院	西村、北山
	京都博愛会病院	黒田
	京都市北部障害者地域生活支援センター「らしく」	中原
	京都市東部障害者地域生活支援センター「からしだねセンター」	二木、諏訪
	京都市西部障害者地域生活支援センター「西京」	長澤、樋口
	京都市南部障害者地域生活支援センター「かけはし」	白髪、宮本
	京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」	植松、仲松
	相談支援事業所「ひといろ」	丸山
	相談支援事業所「しばふあーれ」	金井
	相談支援事業所「TLL」	松坂
	ソーシャルワーク事務所つむぐ	片岡
	相談支援事業所リアン	阿部
	京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」	藤井、中條、山本、田中、高瀬
	京都市こころの健康増進センター 相談援助課	港、横田
内 容	○地域移行対象者の状況共有と意見交換 障害福祉サービスにおける地域移行支援の新規利用者や退院支援の必要がある方について、課題や支援について検討し、情報共有を行った。 今年度も新型コロナウイルスの影響が大きく病院訪問が難しくなり、病院側からも対象者を出しにくい状況や支援が始まったとしても中断をせざる得ない状況が多くあった。 個別ケースの支援に関する課題としては『支援の拒否』『希望の退院先と現実的に地域生活が継続できる環境との折り合いがつかない』『車いすでの生活をしたことがない』『病院や服薬意識が薄い』『病院を離れる事への不安』『家族が退院に対して強い不安がある』『契約行為の拒否』『住居探し』『退院後の生活の組み立て』といったことが挙げられている。 また退院支援相談票での相談も2ケースあり、病院での退院支援の困難ケースの共有と協議の実施をした。 【報告、相談者数】25名 【地域移行支援利用者数】15名 【退院者数】7名 【退院せず終了】4名 【平均総入院日数】 4306日 【平均年齢】 54歳	
	○地域への普及啓発 地域移行の実施をする相談支援事業所が少ない中で、増やしていくために地域の事業所への地域移行の普及啓発の取り組み(相談支援事業所に向けた取り組み/居住支援のとりくみ等)を目的に、一般相談支援事業所に向けた手引書作成に向けての協議を行った。また実務者が普段連携している事業所の情報共有等も行い、次年度に実際手引書として作成を進める準備を行った。地域移行を実施する相談支援事業所が少ない現状があり、今後受け手となる事業所を増やしていくことが課題として挙げられ、地域の事業所への地域移行の普及啓発(相談支援事業所に向けた取組/居住支援の取組等)を目的に、一般相談支援事業所向けの手引書作成のための協議を行った。また、実務者が普段連携している事業所の情報共有等も行い、それも踏まえて次年度に手引	
	○病院への普及啓発 地域移行支援の利用が、市内の限られた病院でしか行われていない実態があることから、実施病院の拡大に向けた取り組みについて協議や実施を行った。 具体的には、川崎市での取り組みや、いわくら病院や南部自立支援協議会での取り組みの共有を行い、川越病院にてピアサポーターと共同で講演活動を行った。	
	○その他検討事項 関係機関研修会の実施に向けての検討	

(2)事業内容検討会議

開催日	書面開催(令和4年3月10日資料送付)
参加者	合計16機関
	きょうかれん
	地域移行に係るピアサポーター
	いわくら病院
	川越病院
	京都博愛会病院
	京都市北部障害者地域生活支援センター「らしく」
	京都市東部障害者地域生活支援センター「からしだねセンター」
	京都市西部障害者地域生活支援センター「西京」
	京都市南部障害者地域生活支援センター「かけはし」
	京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」
	相談支援事業所「ひといろ」
	相談支援事業所「しばふあーれ」
	相談支援事業所「TLL」
	京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
	京都市こころの健康増進センター 相談援助課
	京都市障害保健福祉推進室
	○今年度の取組状況や実務者会議で把握した課題等 〔取り組んだこと〕 ・京都市精神障害者地域移行促進事業実務者会議の実施 ・地域移行に係るピアサポート活動 ・精神障害者の地域移行促進に係る普及啓発 〔実務者会議で把握した課題等〕 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、外出・外泊支援実施の難しさ、病院訪問できず支援が中断等を余儀なくされるケースが多くある ・地域移行に取り組む事業所や病院の少なさ ・ご本人に合う退院先住居（GH）が少ない ・丁寧な支援が必要でありケース数を増やすことが難しい ・退院について家族の理解や協力を得ることが難しい ・障害福祉サービスにおける地域移行支援の利用に至るまでの支援が難しい

内 容	○次年度の取組について 〔課題〕 (継続) ・地域移行支援の難しさ(支援開始の基準、受け手となる事業所の少なさ、報酬に関すること) ・入院患者の意欲喚起(入院の長期高齢化) ・家族の協力や理解についての困難さ ・住居確保の難しさ ・地域移行の実施病院の拡大(障害福祉サービスにおける地域移行支援の利用までは至らないが退院について相談ができる環境づくり) ・新型コロナウイルス感染症の影響による支援の進めにくさ 〔目標〕 『地域移行の実施までの困難さの共有や解消に向けた取組』 前年度同様、地域移行支援の実施に至るまでの困難さについては解消されておらず、これらの課題について引き続き取り組んでいく必要があると考える。また、新型コロナウイルス感染症による影響も続いており、支援が開始できなかったり中断を余儀なくされたりする状況である。 コロナ禍により支援の継続が難しくても、感染が落ち着いているときには、前年度に作成した相談票を利用したケース相談も複数上がっており、実務者会議におけるつながりがあることで地域移行の取組を継続することができていると言える。また、オンラインで実施できる環境も整えられてきており、病院等での活動も少しずつ増えている。 コロナ禍でも継続して取り組むことができる内容について検討し、顔の見える関係づくりを今後も深めていく必要がある。
-----	--

2 入院中の精神障害者の地域移行・地域定着支援に係る事項

(1) 地域移行支援事業

ア 地域移行支援実施人数

15 人

年代 性別	疾患	直近の 入院年数	相談日	利用開始日	医療機関	相談支援事業所	担当地域			支援状況	終了日	地域定着 支援
							支給決定	退院先及び居仁形態				
50代 女性	F2	2年1か月	令和元年11月	令和2年2月	いわくら病院	相談支援事業所 ひといる	左京区	支援終了	—	支援終了	令和3年6月	—
50代 男性	F2	10年	令和2年6月	令和3年7月	いわくら病院	相談支援事業所 アイル	東山区	支援継続中	—	支援継続中	—	—
70代 男性	F2	5年10か月	令和2年9月	令和2年10月	京都博愛会病院	支援センター なごやか	北区	支援継続中	—	支援終了	令和3年4月	—
50代 男性	F2	1年4か月	令和2年9月	令和2年11月	川越病院	相談支援事業所 アイル	中京区	左京区	独居	退院	令和3年5月	無
50代 女性	F2	25年	不明	令和3年2月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	不明	宇治市	GH	退院	令和3年11月	無
80代 女性	F2	30年3か月	令和3年2月	令和3年8月	京都博愛会病院	支援センター なごやか	上京区	支援終了	—	支援終了	令和3年2月	無
20代 男性	F2	3か月		令和3年4月	いわくら病院	ソーシャルワ ーク事務所つむぐ	中京区	東山区	GH	退院	令和3年5月	有
70代 女性	F2	2年5か月	令和3年6月	令和3年7月	川越病院	相談支援事業所 ひといる	城陽市	左京区	共同 住宅	退院	令和4年3月	無
50代 女性	F2	2年	令和2年12月	令和3年2月	川越病院	相談支援事業所 しほふあーれ	北区	支援終了	—	支援終了	令和3年8月	—
20代 男性	F2	1年7か月	令和3年8月	令和3年8月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	長岡京市	支援継続中	—	支援継続中	—	—
50代 男性	F31	7か月	令和3年8月	令和3年8月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	南区	山科区	独居	退院	令和4年2月	無
40代 女性	F2	7か月	令和3年8月	令和3年9月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	右京区	下京区	独居	退院	令和3年12月	不明
50代 女性	F2	3年3か月	令和3年7月	令和3年8月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	下京区	支援継続中	—	支援継続中	—	—
40代 男性	F2	4か月	令和3年10月	令和3年12月	いわくら病院	ソーシャルワ ーク事務所つむぐ	左京区	支援継続中	—	支援継続中	—	—
60代 男性	F2, H53	2年	不明	令和3年10月	京都博愛会病院	相談支援事業所 しほふあーれ	中京区	支援継続中	—	支援継続中	—	—

※終入院期間：10年以上

※終入院期間：25年3か月

※終入院期間：36年1か月
移行支援に引き継ぎ

※終入院期間：12年

※終入院期間：24年
※地域移行利用

イ 地域移行支援実施結果

退 院	6 人
次年度継続	5 人
退院に至らず支援終了	4 人

(2) 地域移行の利用に関する相談、利用までの関わり

ア 地域移行支援利用前の相談人数

10 人

	年代 性別	疾患	直近の 入院年数	相談日	医療機関	相談支援事業所	退院が難しい理由	支援状況	
2	60代 女性	F2	1年6か月	令和2年5月	京都博愛会病院	支援センター なごやか	本人が希望する退院と現実的に可能な退院について違いがある。契約行為を拒否。	終結	北区へ退院
3	60代 男性	F2	9年	令和2年10月	洛南病院	相談支援事業所 しほふあーれ	病識が低い、契約の拒否。	支援継続中	—
4	20代 男性	F2	2年	令和2年12月	いわくら病院	支援センター なごやか	退院に対する不安が強い。	支援継続中	—
11	60代 女性	F2	20年10か月	令和3年5月	いわくら病院	相談支援事業所 ひといる	支援に対しての拒否がある。支援者との関係は良好。	支援継続中	—
18	40代 男性	F2	9か月	令和3年9月	川越病院	支援センター なごやか	不安・緊張が高く時間をかけての面談必要。	支援継続中	—
19	80代 女性	F32	2年2か月	令和3年9月	川越病院	支援センター なごやか	退院への不安が高い。ケアマネも自宅退院には消極的。	支援継続中	—
22	50代 女性	F2	8年7か月	令和3年12月	いわくら病院	相談支援事業所 ひといる	退院先住居がない。	支援継続中	—
23	80代 男性	F2	11か月	令和4年1月	いわくら病院	相談支援事業所 リアン	退院先の住居がない。	支援継続中	—
24	60代 男性	F2	1年8か月	令和3年12月	いわくら病院	相談支援事業所 アイル	生活支援の調整。	支援継続中	—

26	60代 女性	F2	8ヵ月	令和3年11月	川越病院	支援センター なごやか	生活支援の調整	支援継続中	—
----	-----------	----	-----	---------	------	----------------	---------	-------	---

イ 退院相談票での相談

年代 性別	疾患	病歴の 入院年数	相談日	医療機関	相談支援事業所	相談内容	支援状況	
50代 男性	F2	9年	令和3年11月	いわくら病院		何かを進めようとするとう 避行動が出て歩けなくなる などがある	実務者会議 での相談	院内での継続した関 わり
30代 男性	F2	11年	令和3年12月	いわくら病院	—	地域移行を利用して退院したが 短期間で再入院が繰り返される その後自宅に帰郷となり加齢先も ない	実務者会議 での相談	支援センターなごや かの定期面談

イ 地域移行支援につなぐ関わり(延回数)

	電 話	面 接
本 人	11	28
家 族	3	8

ウ 関係機関連絡(延回数)

医療機関	60
相談支援事業所	12
福祉サービス関連事業所	0
その他	5

(3) 地域移行支援に係るケース会議参加

15 回

(4) 普及啓発活動

合計実施回数 34 回

合計参加人数 1166 人

対象者	場所	実施回数	参加人数	内容
病院職員	いわくら病院 会議室	10	71	院内地域移行会議の参加
弁護士, 医師, PSW	ZOOM (なごやか)	1	16	コロナ禍での地域移行の取り組みについての報告
病院職員	いわくら病院 1病棟	1	7	病棟職員への地域移行支援事業の説明(ZOOM)
病院職員	川越病院	1	20	院内の勉強会で地域移行支援事業についての説明
行政関係者, ピア, 障害福祉サービス事業所	ZOOM (なごやか)	12	255	京都府ピアサポーター基礎研修に向けた協議
行政関係者, ピア, 障害福祉サービス事業所	ZOOM (なごやか)	2	144	京都府ピアサポーター基礎研修の講師
障害福祉サービス事業所	ZOOM (なごやか)	1	550	京都府相談支援従事者初任者研修のWEB受講の為の録画撮り
患者, 病院職員	ZOOM (いわくら病院)	1	20	いわくら病院めばえの会にて地域移行の説明
学生	支援センターなごやか	1	1	朱雀工房実習生への地域移行支援等の説明
学生	京都文教大学	1	20	学生への地域移行支援事業についての説明
患者, 病院職員	ZOOM (なごやか)	2	40	地域移行利用者と共に支援の実際を説明
相談支援事業所	ZOOM (なごやか)	1	22	京丹後自立支援協議会勉強会にて地域移行の取り組みについて報告

3 地域移行に係るピアサポーターの養成・活用

(1)登録者数(令和3年度末時点)

13人

(2)普及啓発

合計実施回数 29 回

合計ピア従事人数 58 人

合計参加人数 1326 人

内容	実施場所	実施回数	ピア従事 延人数	ピア従事 実人数	参加人数
京都府ピアサポーター基礎研修に 向けた協議	ZOOM (なごやか)	12	33	3	255
京都府ピアサポーター基礎研修の 講師	ZOOM (なごやか)	2	6	3	144
びあWRAPワークショップ実施	ZOOM (なごやか)	3	3	1	34
学生に向けての体験談等の講演	同志社大学	1	2	2	13
京都府相談支援従事者初任者研 修のWEB受講の為録画撮り	WEB	1	1	1	550
いわくら病院めばえの会にて患者 への体験談講演及び交流	ZOOM (いわくら病院)	1	3	3	20
京都市リハビリテーション推進研修 での体験談講演	ZOOM (ラポール京都)	1	2	2	115
川越病院での体験談講演	川越病院	1	1	1	20
学生に向けての体験談等の講演	京都文教大学	1	3	3	20
京丹後自立支援協議会勉強会にて 体験談講演	ZOOM (なごやか)	1	1	1	22
学生に向けての体験談等の講演	花園大学	1	1	1	13
居連協の研修会にて体験談講演	ZOOM (JCIL)	1	2	2	120
通信を作成しWEB上での広報実施	—	3	—	—	—

4 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する必要な研修の企画及び実施

(1) 精神障害者支援体制加算研修

日付	対象者	実施場所	参加人数	内容
12月14日	関係機関 (精神科病院, 支援センター, 相談支援事業所, 行政関係者)	京都テルサ	54	桃山学院大学の栄セツコ氏を招いてピアサポートについての講演、なごやかなのピアサポーターと生活訓練いろはでのピア活動についての報告を実施

(別 添)

令和3年度 京都市精神障害者地域移行促進事業 収支清算書

収 入

項 目	収 入 金 額	備 考
京都市事業委託費	3,799,800	
合 計	3,799,800	消費税及び地方消費税分を含む

支 出

科 目	支出金額	内 訳
協議の場(事業内容検討会議及び実務者会議)	772,916	・需用費(＠192,037) ・人件費(＠580,879)
ピアサポートの養成・活用	1,880,613	・活動手当(ピアサポーター)(＠144,000) ・交通費(＠6,900) ・需用費(＠103,252) ・人件費(＠1,626,461)
精神科病院での地域移行への支援	968,241	・需用費(＠132,930) ・人件費(＠813,231) ・交通費(＠22,080)
関係職員に対する研修	178,030	・会場費(＠97,020) ・講師謝礼(＠35,640) ・ピアサポーター報酬(＠30,000) ・需用費(＠15,370)
合 計	3,799,800	消費税及び地方消費税を含む

(あて先) 京都市長 様

令和3年 3月31日

住 所 京都市中京区壬生仙念町30番地
事業者名 社会福祉法人京都光彩の会
代表者名 理事長 加藤博史 印

決 算 報 告 書

令和3年度

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

京都市指定管理事業所

京都市中部障害者地域生活支援センター

「なごやか」

社会福祉法人 京都光彩の会

(社会福祉法人 新会計基準に拠る会計処理)

法人名	社会福祉法人京都光栄の会
施設名	地域生活支援センター「なごやかサロン」
サービス区分	なごやかサロン

支援センター資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	障害福祉サービス等事業収入	44,600,000	44,914,668	△314,668	
	自立支援給付費収入	9,600,000	8,846,753	753,247	
	地域相談支援給付費収入	1,300,000	185,920	1,114,080	
	計画相談支援給付費収入	8,300,000	8,660,833	△360,833	
	その他の事業収入	35,000,000	36,067,915	△1,067,915	
	受託事業収入	35,000,000	36,067,915	△1,067,915	
	その他の収入	40,000	107,340	△67,340	
	受入研修費収入	40,000	83,000	△43,000	
	雑収入		24,340	△24,340	
	事業活動収入計(1)	44,640,000	45,022,008	△382,008	
	支出				
	人件費支出	36,350,000	35,734,010	615,990	
	職員給料支出	17,000,000	15,740,493	1,259,507	
	職員賞与支出	4,200,000	4,157,280	42,720	
	職員諸手当支出	3,550,000	4,187,576	△637,576	
	非常勤職員給与支出	6,000,000	6,067,651	△67,651	
	退職給付支出	1,000,000	1,038,596	△38,596	
	法定福利費支出	4,600,000	4,542,414	57,586	
	事業費支出	1,450,000	1,366,628	83,372	
	保健衛生費支出		7,707	△7,707	
	教養娯楽費支出	30,000	25,953	4,047	
	日用品費支出	40,000	101,367	△61,367	
	水道光熱費支出	900,000	851,046	48,954	
	消耗器具備品費支出	150,000	166,903	△16,903	
	教育指導費支出	200,000	141,000	59,000	
	車両関係費支出	130,000	72,652	57,348	
	事務費支出	5,330,000	6,281,364	△951,364	
	福利厚生費支出	200,000	281,224	△81,224	
	旅費交通費支出	250,000	250,550	△550	
	研修研究費支出	200,000	179,776	20,224	
	事務消耗品費支出	180,000	80,881	99,119	
	印刷製本費支出	300,000	324,265	△24,265	
	修繕費支出	50,000	18,600	31,400	
	通信運搬費支出	500,000	687,181	△187,181	
	広報費支出		25,436	△25,436	
	業務委託費支出	2,500,000	2,984,433	△484,433	
	手数料支出	10,000	2,680	7,320	
	保険料支出	90,000	191,917	△101,917	
	賃借料支出	850,000	1,088,018	△238,018	
	租税公課支出	10,000		10,000	
	保守料支出	30,000	30,403	△403	
	諸会費支出	150,000	136,000	14,000	
	雑支出	10,000		10,000	
	事業活動支出計(2)	43,130,000	43,382,002	△252,002	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,510,000	1,640,006	△130,006	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				

支援センター資金収支計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円) 2頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
に よ る 収 支					
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
	予備費支出(10)	1,510,000		1,510,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		1,640,006	△1,640,006	
	前期末支払資金残高(12)		26,392,401	△26,392,401	
	当期末支払資金残高(11)+(12)		28,032,407	△28,032,407	

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	地域生活支援センター「なごやかサロン」
サービス区分	なごやかサロン

支援センター事業活動計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備 考
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収 障害福祉サービス等事業収益	44,914,668	44,701,413	213,255	100.48%	
	益 自立支援給付費収益	8,846,753	8,859,107	△12,354	99.86%	
	地域相談支援給付費収益	185,920	718,736	△532,816	25.87%	
	計画相談支援給付費収益	8,660,833	8,140,371	520,462	106.39%	
	その他の事業収益	36,067,915	35,842,306	225,609	100.63%	
	補助金事業収益		47,000	△47,000	0.00%	
	受託事業収益	36,067,915	35,795,306	272,609	100.76%	
	経常経費寄附金収益		100,000	△100,000	0.00%	
	サービス活動収益計(1)	44,914,668	44,801,413	113,255	100.25%	
	費 人件費	35,734,010	36,724,796	△990,786	97.30%	
	職員給料	15,740,493	18,837,559	△3,097,066	83.56%	
	職員賞与	4,157,280	5,355,422	△1,198,142	77.63%	
	職員諸手当	4,187,576	3,789,740	397,836	110.50%	
	非常勤職員給与	6,067,651	2,992,110	3,075,541	202.79%	
	退職給付費用	1,038,596	976,559	62,037	106.35%	
	法定福利費	4,542,414	4,773,406	△230,992	95.16%	
	事業費	1,366,628	1,514,056	△147,428	90.26%	
	給食費		6,153	△6,153	0.00%	
	保健衛生費	7,707	60,840	△53,133	12.67%	
	教養娯楽費	25,953	36,099	△10,146	71.89%	
	日用品費	101,367	12,371	88,996	819.39%	
	水道光熱費	851,046	842,657	8,389	101.00%	
	消耗器具備品費	166,903	384,119	△217,216	43.45%	
	教育指導費	141,000	104,500	36,500	134.93%	
	車輛関係費	72,652	67,317	5,335	107.93%	
	事務費	6,281,364	5,390,595	890,769	116.52%	
	福利厚生費	281,224	286,822	△5,598	98.05%	
	旅費交通費	250,550	234,374	16,176	106.90%	
	研修研究費	179,776	109,541	70,235	164.12%	
	事務消耗品費	80,881	75,778	5,103	106.73%	
	印刷製本費	324,265	234,368	89,897	138.36%	
	修繕費	18,600		18,600		
	通信運搬費	687,181	382,408	304,773	179.70%	
	広報費	25,436		25,436		
	業務委託費	2,984,433	2,981,983	2,450	100.08%	
	手数料	2,680	1,640	1,040	163.41%	
	保険料	191,917	58,018	133,899	330.79%	
	賃借料	1,088,018	880,908	207,110	123.51%	
	保守料	30,403	26,603	3,800	114.28%	
	諸会費	136,000	118,152	17,848	115.11%	
	減価償却費		30,671	△30,671	0.00%	
	サービス活動費用計(2)	43,382,002	43,660,118	△278,116	99.36%	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,532,666	1,141,295	391,371	134.29%	
サ ー ビ ス 活 動 外 増	収 その他のサービス活動外収益	107,340	35,500	71,840	302.37%	
	益 受入研修費収益	83,000	35,500	47,500	233.80%	
	雑収益	24,340		24,340		
	サービス活動外収益計(4)	107,340	35,500	71,840	302.37%	

支援センター事業活動計算書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位：円) 2頁

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比	備 考
減 の 部	費用					
	サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	107,340	35,500	71,840	302.37%	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,640,006	1,176,795	463,211	139.36%	
特 別 増 減 の 部	収益					
	特別収益計(8)					
	費用					
	特別費用計(9)					
	特別増減差額(10)=(8)-(9)					
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,640,006	1,176,795	463,211	139.36%	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	26,392,409	25,215,614	1,176,795	104.67%	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	28,032,415	26,392,409	1,640,006	106.21%	
	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩額					
	工賃変動積立金取崩額					
	長期預り金積立資産取崩額					
	その他の積立金積立額(16)					
	その他の積立金積立額					
	施設整備等積立額					
	工賃変動積立金積立額					
	当期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	28,032,415	26,392,409	1,640,006	106.21%	

支援センター貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円) 1頁

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	28,086,715	26,450,134	1,636,581	流動負債	54,308	57,733	△3,425
現金預金	4,204,253	1,700,419	2,503,834	預り金	54,308	57,733	△3,425
事業未収金	10,133,284	10,820,154	△686,870				
前払金	100,840	100,840					
拠点区分間貸付金	10,648,338	13,828,721	△3,180,383				
サ-ピース区分間貸付金	3,000,000		3,000,000				
固定資産	8	8		負債の部合計	54,308	57,733	△3,425
その他の固定資産	8	8		純資産の部			
機械及び装置	1	1		次期繰越活動増減差額	28,032,415	26,392,409	1,640,006
器具及び備品	7	7		(うち当期活動増減差額)	1,640,006	1,176,795	463,211
				純資産の部合計	28,032,415	26,392,409	1,640,006
資産の部合計	28,086,723	26,450,142	1,636,581	負債及び純資産の部合計	28,086,723	26,450,142	1,636,581

財 産 目 録

別紙4

地域生活支援センター「なごやか」

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有高	-	運転資金として	-	-	4,766
普通預金	京都中央信用金庫	-	運転資金として	-	-	4,199,487
普通預金		-		-	-	
	小 計					4,204,253
事業未収金		-	訓練給付費他	-	-	10,133,284
未収補助金		-	市補助金	-	-	0
前払金		-	施設保険料	-	-	100,840
拠点区分間貸付金		-	運転資金として	-	-	10,648,338
サービス区分間貸付金		-	運転資金として	-	-	3,000,000
流動資産合計						28,086,715
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地		-			-	0
建物		-			-	0
定期預金	定期預金京都中央信用金庫	-			-	0
基本財産合計						0
(2) その他の固定資産						
土地		-			-	0
建物		-			-	0
構築物		-		0	0	0
機械及び装置	パソコン等	-	施設整備のため	153,360	153,359	1
車両運搬具		-				
器具及び備品	エアコン等	-	施設整備のため	1,768,319	1,768,312	7
ソフトウェア	相談支援ソフト	-	業務補助のため	1,026,000	1,026,000	0
退職給付資産		-			-	
施設積立資産	定期預金京都中央信用金庫	-		-	-	
他の固定資産	敷金・保証金	-				
その他の固定資産合計						8
固定資産合計						8
資産合計						28,086,723
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分社会保険料他	-			-	0
他未払金		-			-	0
預り金	3月分源泉所得税他	-			-	54,308
前受金	利用料等前受金	-			-	0
サービス区分間借入金	事業運営費等	-			-	0
流動負債合計						54,308
2 固定負債						
設備資金借入金		-			-	0
退職給付引当金		-			-	0
他の固定負債		-			-	0
固定負債合計						0
負債合計						54,308
差引純資産						28,032,415

委託金事業等収益明細書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人京都光彩の会

(単位：円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	交付金額等合計の事業所ごとの内訳	
			京都市朱雀工房	地域生活支援センター 「なごやか」
支援センター運営事業 委託料	障害事業	30,104,965		30,104,965
京都市地域移行支援事業 運営委託料		3,799,800		3,799,800
京都市こころのふれあい 交流サロン運営委託料(実績分)		2,163,150		2,163,150
		-		
区分小計		36,067,915	-	36,067,915
	施設			
区分小計		-	-	-
区分小計		-	-	-
合 計		36,067,915	0	36,067,915